

# 幼の育教

第十號

十月號

第二十八卷



東京女子高等師範學校內  
日南幼稚園協會

廣島高等師範學校教授

文學博士

久保良英先生新著

四六判全一冊洋銀  
定價金貳圓 送料金十八錢

新刊

# 愛兒良毅の教養

本書の全文は悉く眞摯なる學者の兒童教養實驗記録で有

久保博士の令息良毅君は僅か九歳の年齒を享けて其餘りに短き生涯を終られた。……博士は本書自序の一節に「良毅は私の學位論文の中の言語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前、博士の兒童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新にして以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度い」と敬虔なる學者の願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一大權威、この純情を以て綴られた本書の一字一句は兒童研究としての學的價値は言ふに及ばず、尙且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信ず、御必讀を乞ふ。

文學博士

久保良英著

## 實驗心理學精義

好評赫々

三版 三版 三版  
簡單なる行動篇  
復雜なる行動篇

菊判全一冊紙數八百頁挿圖貳百  
定價金六圓 送料金廿七錢  
菊判全一冊紙數八百頁挿圖貳百  
定價金六圓 送料金廿七錢

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究して、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇。後篇復雜なる行動篇を著しその調査方法は質的及量的の兩者交互に説叙し未決の問題は之れを未決の問題として所し、且つその結果相背離せるものに對しては決して獨斷の私見を取らず、始終一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所を周到懇切に詳述せるものなるを以て實中の研究學の光輝せる事を俟たず、且つ本書述の最も特長とす所の其の研究發表が、唯單に學的的觀察の點に止りず、實際の生活方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育家、軍隊、特長場管理者等すべての集團的當事者に取つても必ず學的的の指針として貴重なるものである。如上關係者の外交檢驗廳者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區 文庫館書店 電話 振替 東京 三三三 八三三 四二二 七二五



號 十 第 育 教 の 兒 幼 號 八 十 二 第

|                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 一、口 繪・大工仕事・ふらく人形     | 堀 七 藏……………二      |
| 一、私の觀察したる米國の幼稚園教育(二) | 大塚 喜 一……………一七    |
| 一、幼兒期の情意教育に就て(三)     | 田 原 美 榮……………二六   |
| 一、尋一の教育から            | ト 部 た み……………三一   |
| 一、十一月の幼兒生活           | 長 尾 豊……………三九     |
| 一、見るものと見せるもの         | 三 浦 ひ ろ……………四三   |
| 一、最近歐米ダンス界に表れし一傾向    | よ し こ……………四八     |
| 一、秋                  | 水 島 さ ゆ り……………四九 |
| 一、私の幼稚園              | 大 岩 金……………五二     |
| 一、草 苺                | 及 川 ふ み……………五八   |
| 一、ふらく人形              | 水 谷 年 恵……………六〇   |
| 一、お猿のはなし             | 新 庄 よ し こ……………六五 |
| 一、幼兒の仕事の一つ           | 土 川 五 郎……………六六   |
| 一、御大典奉祝遊戯千代の榮        | 戸 倉 ハ ル……………六九   |
| 一、かけぶみ               |                  |
| 一、雜 錄                | 七 三              |

## 幼兒の手技研究會プログラム

一、本會は幼稚園及保育所及託兒所に於ける手技保育の完成を目標として猛研究をするのでございます。

一、本會は毎月一回研究會を開催し新資料の研究製作をして居ります。

一、幼兒の教育にたゞさわる先生殊に若い先生方は振つて毎月會に御出席下され手技手藝について充分の趣味と器用とを養はれんことは直に園兒の幸福は勿論のこと其の先生自身の幸福であります。非常に必要なことと思ひます。

一、遠方の方或は出席しがたい方の爲に通信研究部の設がありまして毎月の資料を製作してお送りして居ります。また御入會のない方は至急御申込を願ひます。

一、會費 材料代共毎月六十錢（出席會員）通信部は別に送料を要す。

市内六錢 内地十二錢 鮮滿四十五錢  
臺灣三十錢

通信部會員御希望は毎月會費と送料を合算したる額を三ヶ月六ヶ月一ヶ年等にまとめて御送金のこと。

### 一、資料

#### ◎九月會（御大典奉祝）

- (1) 菊の花籠 (2) 日の丸の旗 (3) 鳳凰
- (4) 萬歳提灯 (5) 奉祝花電車

以上

#### ◎十月會（御大典奉祝）

- (1) 御大典奉祝旗 (2) 奉祝提灯
- (3) 富士の山の景（貼繪） (4) 奉祝胸章
- (5) 奉祝日傘 (6) 水鳥の弄具（畫學紙細工）
- (7) 奉祝飛行船（麥稈細工）

以上

#### ◎十一月會（多岐路ノエ）

- (1) 撫子の造花 (2) 拵紙挾（羅紗紙細工）
- (3) 可愛い籠箱（畫學紙細工） 各種
- (4) 花籠（可愛い綺麗なバラの花籠）
- (5) 美麗式切抜 五種

以上

昭和三年十月

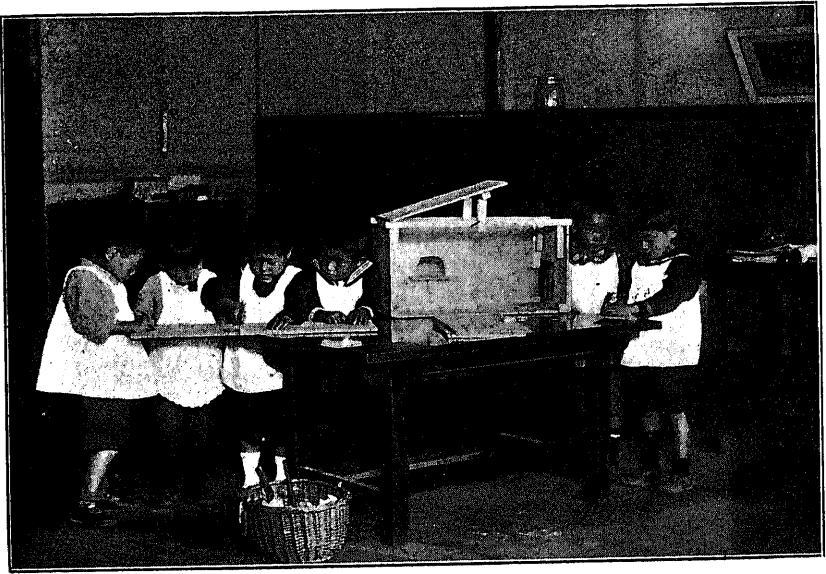
東京市牛込區納戸町六番地  
東洋幼稚園牛込分園内

幼兒の手技研究會

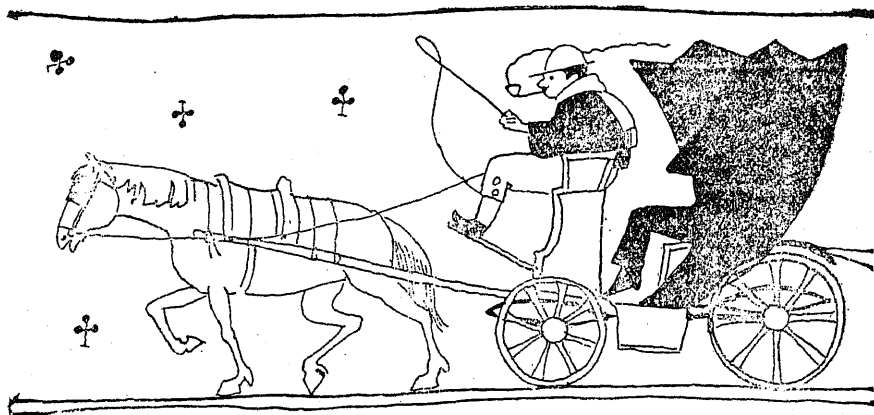
振替口座東京六六五八〇番



形人らふらふ



大 工 仕 事 東 京 女 子 高 師 附 屬 幼 稚 園



號十第 育教の兒幼 卷八十二第

月十年三和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたものであります。

# 私の視察したる米國の幼稚園教育(二)

二

堀 七 藏

アメリカ合衆國では分業が著しく進歩して居りますから教師も各自その能力に應じ専科受持が多いのであります。師範大學などはそれ／＼専門のコースに分れてゐますからこゝを卒業して小學校に奉職する教師は大抵専科であります。免許状も専科が多いので何れも三年か五年間だけ有効なものが多いのであります。この三年又は五年などの期限付免許状は各州によつて異り一様でないのであります。何れにしても期限の來ない中に更に年限を繼續するやう夏季講習などを受けねばなりませんからアメリカの各大學は夏季講習を盛にやり講習を受けるものを大學生として取扱ひ皆熱心であります。これは我が國の如く師範學校を卒業さへすれば無試験で本科正教員の免許状が授與せられ、惡事さへせねばどんなに勉強しなくとも終身有効な免許状とは大に異なるのであります。それで前に述べたアメリカの大學生が數多い理由も分りませう。また夏季講習が熱心に行はれる譯が明白となりませう、勿論アメリカでも終身の免許状はありますが、永年勤続して成績の優良なものでなくば與へられないのだと申します。アメリ



カ合衆國では教員の採用は至極簡單なもので、全く女中を雇ふと大差がないのであります。普通年限は一ヶ年で更に繼續して勤めることを約束しなければ自然に退職となる譯であります。どうも學校が多忙で骨が折れるから退職するといふものがあり、女教員が結婚すれば退職となるといふ有様で、教員の出入は中々頻繁であります。ニューヨーク市には公立學校、六六二校その中小學校が六百四校ありますが毎日千二三百人の代理教員を雇ふ想であります。それでニューヨーク市には一年間に約二萬二千件の缺勤教員があり、二萬二千弗以上の俸給拂戻があると申しますから面白いではありませんか。

アメリカ合衆國は時間が非常に嚴格であります。汽車の時間などは左程正確でもありませんが、勤務時間は中々八ヶましいのであります。私がワシントン市の小學校を參觀したとき一寸初めの時間におくられてその學校、豫め前日日本大使館から電話して貰つてありましたから一寸おくれて校長室に入ると、もう校長はその室に居りません。校長室といつても事務室でありますが、そこに立つてゐると一人の女教師が入つて來ました、そしてかけてある時計を見て、表に何か記入して、直に隣の受持教室に入りました。おかしなことをすると思つてその表を見ると、ワシントン市教育局で印刷した教員の出勤簿であります。我が國小學校の出勤簿のやうに只認印を押すだけのものではありません。校長以下全體の教員の姓名が記載せられ、各曜日の欄には出勤時刻を時分と記入するやうになつた表があります。それにかの女教師が出勤時刻を時計を見ながら記入したことが分りました。この表は校長より教育局に報告せら

れまして五分間の遅刻にも俸給が差引かれるのであります。遅刻早退は只記入するだけ、年末賞與にも左程關係がない我が國とは著しい相異でありませう。

またニューヨーク市のワドライハイスクールを參觀したときにも驚きました。このハイスクールは女兒のみのハイスクールであります。生徒は四千人もゐます。大きな女學校であります。オフィスは女横に控室があつてそこに壁一面に教師の姓名を印刷したカードがあります。教師は出勤するとこのカードを直にその室に備へたる自働印刷時計に挿入するのであります。すると挿入した時刻が正確に印刷せられますから記入の際胡魔化すなどいふことは出来ぬ仕掛であります。退去の時も同様にその時刻を印刷するのであります。これによつて勤務時間が明白となり俸給が定まるといふのであります。かく勤務が顯る嚴格なることは誠に喜ばしいことであります。また一方に弊害を伴ふのがアメリカの教育であります。

勤務時間が嚴格であり、勤務中は責任を以て一生懸命働く所に大なる長所があります。勤務してゐるかゝるのか、分らぬといふやうにだらしないことはありません。煙草をのんだりお茶をのんだり、また雑談して只時間を経過するといふ如きことはアメリカの學校幼稚園にはありません。休養の時間と勤務の時間とは嚴格に區別せられてゐます。従つて午後七時八時まで殆ど何をするともなく、若い娘を小學校や幼稚園に勤務させてそれでよいなどと考へてゐることは毛程もありません。それで勤務時

間中は一生懸命、その職責を盡すのがアメリカ生活の一大特色であります。尤もこれはアメリカに限つたことでなく歐米生活を通じてのことでもあります。その代り勤務時間外には決して働かぬのが矢張り特色であります。休養時間は休養時間でその間に仕事をすることはありません。八時間勤務ならば、只八時間だけ。學校の如く五時間勤務ならば只五時間だけ、余分の時間勤務することは決してありません。また分擔以外の仕事も決してしないのが本則であります。それですら理科の教授でも何でも準備を要する教授は悉く教授時間内に行はれる爲に兎角實驗などが行はれません。それは生徒に行はせて教師が行ふ面倒をさけます。どの授業も時間で俸給が定まるから特別な骨を折るといふが如きことをさける風があります。所謂時間の切賣の思想はアメリカの學校教育で普通のことになつてゐます。特別に熱心といふことは藥にしたくともないといふ風であります。一言にしていへば熱心家もなく大變ななまけ物もないのがアメリカの教育者であります。

## 二

アメリカ合衆國の教育系統は比較的單純であります。幼稚園が二年で、滿六歳より小學校教育が義務に八年間、更に四年のハイスクールがあつてカレッヂや大學に連絡してゐます。新しく小學校七年八年をジュニアハイスクールとしてゐるに對し、四年のハイスクールをセニアハイスクールと區別し、又小學校七八年と四年のハイスクールを含んでハイスクールとなしてゐる所もあります。小學の六年とハイ

スクールの六年。小學の六年には左程問題はありませんがハイスクールの六年の課程にはいろいろの案があります。舊制の二年と四年とを分割して二年二年と三循環するやうな課程案もあり、又三年と三年と二循環する圓周的課程案もあります。一體がアメリカの教育は實用主義のものでありますから、小學校七年八年に於て少くとも職業教育の基礎を施すのであり、ハイスクーリルも大學準備教育をなすコースもあるが職業教育を主とするコースがあることは我が國の中學校の現在とは大變違つてゐます。

ニューヨーク州に於けるハイスクールの生徒の割合を示すと左の如くであります。一年生が全校生徒の四十八%、二年生が二十六%、三年生が十六%で、残の十%が四年生であります。而して全校生徒の僅に八だ%がハイスクーリルを卒業するに止まるし、四%が大學準備の教育を受け、二%が大學に入學する位であります。これで見るとハイスクーリルの生徒は一年で途中退學をなして自活するものが著しく多く、二年三年でも途中退學をなすものが甚だ多いのでありますから、ハイスクーリルで自活能力を養成することが肝要であります。純然たる大學準備をなす我が國の中學校とは全然異なる方針で教育が行はれますと同時に途中退學者が多いから誰にも役立つ教育を施すには階段的に四年で完結する教育を施すよりも圓周的に二年なり三年なりで完結し、更に深入して役立つ教育をなすがよいといふことになりませう。この際三年と三年となすか、二年と二年と二年で三循環をなすかなどが大に問題となる譯であります。アメリカ合衆國ではハイスクーリルの教科課程案の問題が著しく論議せられ講究せられつゝある所以

であります。

茲には幼稚園教育に直接關係がありませんが、ハイスクールのコースを示す一例を上げて御參考に供しませう。シカゴ市のハイスクールでは左のコースがあります。生徒がハイスクールに入學するときどのコースを選定するか、各自の能力長所短所をよく考量してそのコースを選定せねばならぬのであります。茲に於て性能検査が非常に必要となり、この方面の研究 著しく盛な譯であります。兎に角いろいろのコースがあります。

一、一般のコース（ゼネラルコース）。普通教育を受くることを希望しカレッヂに入學せんとするものがとるコースであります。

二、科學のコース（サイエンスコース）自然科學を好み、カレッヂ師範大學などの入學希望者がとるものであります。

三、商業のコース（コンマーシャルコース）書記簿記者速記者等の希望に適するコースであります。

四、事務家のコース。役所の事務員志願者がとるコースであります。

五、工業のコース。工場に勤めるもの、又師範大學工業學校カレッヂ等に入學希望者がとるべきコースであります。

六、社會科學のコース（ソシアルサイエンスコース）。歴史の系統的研究をなし社會の研究を希望する

ものに適するものであります。

七、藝術のコース（アートコース）。藝術に興味を有するものが入學すべきコースであります。

八、家事のコース（ドメステックアートコース）家庭の主婦となり家事經濟に屬する仕事をなす人がとるコースであります。

九、建築のコース 建築家とならんと欲するものがとるコースであります。

以上九コースの外に二ヶ年のコースとして、計算科、速記科、器械製圖科、器械科、電氣及自動車科、家事科、印刷科、農業科等があります。如何に多くのコースがあるか注意して下さい。

### 三

アメリカ合衆國の教育の一特色は男女共學であります。幼稚園小學校に於ける男女共學は勿論ハイスクールでもカレッヂヤ大學でも男女共學が甚だ多いのであります。

獨逸でも英國でもまたその他のヨーロッパの諸國でも多くは小學校より男女別々に教育をなしてゐます。只大學教育になると男女別に大學を設立することは經濟上許さぬから男女共學が多いのであります。しかし英國などでは特に女子のカレッヂがあつて男女別々に教育をなす所もあります。所がアメリカ合衆國では學校創立時代から經濟上の便宜より男女共學をさせたのであります。移民が集團をなして學校教育を施す場合に男女二校を設立することが出来なかつたのであります。男女の二校を設立するだけの

生徒もなく、また經濟上よりもこれを許さなかつた譯であります。既に述べた如くハイスクールの第二級第三級に屬するものは男女別の教育を施すことが出来ないのであります。男女共學に大なる長所があるといふのではなく、經濟上の關係から止むを得ず男女共學を實施したのであります。また第一級に屬するハイスクール即ち大都市のハイスクールでは多くのコースがあり選擇科目の關係上、プログラムが複雑となるため男女を區別することが出来ないのあります。我が國の中學校の如く單純ではありませぬから男女共學としてそれ／＼何れかのコースを選び必要な學科を學習するといふ方が便宜であります。この場合も男女共學に大なる價值があるのではなく、止むなく男女共學を實施してゐるものであります。それでありますからアメリカでも新しいハイスクールは漸次男女別に設立せられるのであります。それでニューヨーク州では男兒のハイスクール六校、女兒のハイスクール三校に對し、男女共學のハイスクールが八百六十六校もあります。また全米國では男兒だけのハイスクールが三十五校、女兒だけのものが二十七校ありますが、男女共學のハイスクールは實に一萬二千五百一十一校あつたと申します。この統計が多少古いのでありますから現今ではもつと男女別のハイスクールが増加してゐませう。しかし男女共學のハイスクールが多いことはアメリカ合衆國教育の一特色であります。尤も同一學校に男女が共學するといふことで凡ての學科が悉く男女共學といふことではありません。男女共それ／＼選擇科目がありますから或る學科は悉く男兒だけ、或る學科は悉く女兒だけといふ場合が多くあります。タイプライ

ターなどは女兒だけであり電氣科などは男兒だけといふのが普通であります。兎に角アメリカでは男女共學のために弊害が多いことは教育者が等しく認むる所であります。それを我が國などで眞似せねばならぬ如く考へるものがあるならばそれは誠に思はざるの甚だしいものであります。

## 四

アメリカ合衆國の小學校數は十五萬五千校以上もあり、一九二四年には五歳より十八歳までのものが二九三四萬人以上ありますが、學籍にあるもの二四二九萬あります。そして日々出席者一九一三萬であると申します。それで一九二〇年には五歳と六歳兒童の入學者一九二萬人でその同年齡者の四十一％であります。七歳より十三歳までが一三八七萬で九〇・六％、十四歳と十五歳とが三一二萬人で七十九・九％、十六歳と十七歳は一六四萬人で四十二・九％、十八歳から二十歳までは八一萬人で十四・八％であります。所が之を都會兒童と村落の兒童とに分けると

|       | 都會の學校兒童數  | 就學歩合 | 村落の學校兒童數  | 就學歩合 |
|-------|-----------|------|-----------|------|
| 5—6歳  | 1,019,943 | 49.0 | 902,182   | 34.7 |
| 7—13歳 | 6,369,136 | 94.4 | 7,499,874 | 87.6 |
| 14—2歳 | 2,458,904 | 39.3 | 3,123,937 | 44.6 |

であります。之を見ると五歳六歳の就學者は都會に於て四十九％であるが、村落には三十四・七％で遙



に少く七歳より十三歳までの所謂小學校兒童は都會では九四・四%の就學卒で、村落は八七・六%であります。以上の數字は凡て公立學校についての統計で、私立學校は含んでゐないのであります。

兎に角アメリカ合衆國では滿六歳より十四歳までの八ヶ年が義務教育であります。而して村落小學校では自動車で通學する兒童を運搬せねばならぬ處が多く、單級小學校程度のもは少くないのであります。大部分の小學校は設備完全に教授も大なる成績をあげてゐる所が多いのであります。しかしアメリカ合衆國では自然に發達した學校教育であるため、各州によつてそれ／＼異つた小學校教育が行はれてゐますから我が國小學校の如く劃一的なところがないのであります。しかし一週五日授業があつて、土曜日と日曜日とが休日。毎日、朝は八時より午後二時又は三時まで授業を行ふのであります。それで五十都市の平均では一週の教授時數が二四・九四時であると申します。今代表的にニューヨーク市の教科目とその配當時數を表解すると次の如くであります。これは分て表はしてあります。

| 教科 | 一年      | 二年      | 三年      | 四年      |
|----|---------|---------|---------|---------|
| 英語 | 四九五—七〇五 | 六一五—七〇五 | 六一五—六七五 | 五二五—五五五 |
| 算術 | 九〇—一二五  | 一八〇—二四〇 | 一五〇—二四〇 | 一五〇—三〇〇 |
| 圖畫 | 九〇—一二〇  | 九〇—一二〇  | 九〇—一二〇  | 九〇—一二〇  |
| 音樂 | 六〇      | 六〇      | 六〇      | 六〇      |

自然研究

六〇—九〇

六〇—九〇

六〇—九〇

六〇—九〇

習字

七五

七五

七五

七五

體操及衛生

二二〇—二三〇

二二〇—二三〇

二二〇—二三〇

二二〇—二三〇

裁縫又は手工

三〇

三〇

六〇

六〇

地理

|

|

|

|

歴史及公民科

|

|

|

|

科 學

|

|

|

|

工場實習(料理)

|

|

|

|

五年

六年

七年

八年

四〇五—五五五

四〇五—五八五

三四〇—四二〇

三八〇—五四〇

一五〇—二七〇

一五〇—二四〇

二〇〇—二八〇

二〇〇—二八〇

九〇—一二〇

九〇—一二〇

八〇—一二〇

八〇—一二〇

六〇

六〇

六〇—八〇

六〇—八〇

六〇—九〇

六〇—九〇

|

|

七五

七五

六〇

六〇

|         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 二二〇—二三〇 | 二二〇—二三〇 | 二二〇—二三〇 | 二二〇—二三〇 |
| 六〇      | 六〇      | —       | —       |
| 九〇—一五〇  | 九〇—一五〇  | 八〇—一二〇  | 八〇—一二〇  |
| 九〇—一五〇  | 九〇—一八〇  | 一二〇—二〇〇 | 一二〇—二〇〇 |
| —       | —       | 八〇—一二〇  | 八〇—一二〇  |
| —       | —       | 八〇      | 八〇      |

備考 (1) 七八年は一時限四十分を超えざること、その他の學年は三十分を超えざること。

(2) 自由時間は少くとも毎日一時限を設けること。

(3) 圖畫手工は男女共に課すること。

(4) 工場實習は男子のみに裁縫料理は女子のみに課すること。

(5) 女子は三年より裁縫を始め男子は手工を續けること。

(6) 七年より女子には科學の代りに裁縫を課すること。

この表を見ても我が國の教科程表と大變に異なる所がありません。これが各州によつて異り各學校によつて異るといふ有様であります。そして小學校教育の目的は規則で嚴格に規定してあるのではないが、大體に於て「小學校の兒童は生活に必要な基礎を收得するにあるのであります。

シカゴ大學教授パーカー氏は小學校教育の目的として四つの事項を上げてゐます。その第一はグッドヘルスであります。即ち健全なる身體をつくるのが小學校教育の第一の目的であります、第二はひまな時間を無害に享樂し得る能力を養成することであり、吾人人類の一日の生活を考へると八時間睡眠して八時間働けばひまな時間が八時間あります。勿論この八時間と雖も食事をしたりいろいろの雜用をしたりいたしますが、大部分は享樂の時間であり、この時間を無害有益に享樂し得る能力を得ることが各人甚だ肝要なことであり、その能力を得しむるのが小學校教育の第二の目的であります、第三にはグッドウィルで善良なる性情を養ふことであり、所謂徳性の涵養が小學校教育の重大なる一目的であることは申すまでもないことであり、第四がソシアルサーヴィスであります。このソシアルサーヴィスの中にはビジネスサーヴィスとホームサーヴィスと、更にシヴィックサーヴィスの三を含むのであります。ビジネスサーヴィスは自活するに足る職業の素地を養成することであり、ホームサーヴィスは家庭生活をなすに必要な知識技能であります。またシヴィックサーヴィスは自治團體の一員市民として國民として必要な修養をなさしめることでもあります。以上の三つをソシアルサーヴィスと名づけ小學校教育の目的としたのであります、これが我が國小學校教育の目的に「生活に必須なる知識技能を得しむること」を上げてあると同様であります。

パーカー氏は以上四つの目的を達する爲小學校の教科課程も之に順應せしめねばならぬ。それで小學

校の教科を五大別することが出来ると思つてゐます。第一は本質的機能を養成する教科で、話方、讀方、算術書方綴方がそれでありませう。是等の教科は何人も現代の生活をなすには或る程度の素養が必要でありますからこれが小學校の教科として本質的なものであります。

第二は休養的趣味的教科として唱歌・遊戯にゲーム、面白いお噺、自然研究例へば園藝とか動物飼育。是等は凡て職業的のものではなくひまな時間を無害有益に費すことを得る趣味的のものとして教授をするのであります。また繪畫美術も趣味的教科であります。それでは是等はどの生徒も一樣な程度に學習せねばならぬものではなく各人の趣味に應じまち／＼で結構であります。或るものは自然研究に興味を有し或るものは音樂に、また或るものは繪畫美術にまた或人はゲームに興味を有すといふのが普通であるべきであります。多趣味は勿論結構でありますが只ひまな時間を無害に興味を以て生活し得ればよいのであります。それで學習の程度も一樣でなくとも一向差支がないといふのであります。

第三は社會生活の研究であります。ホームや地方團體、都市、國家に於ける生活を研究させるのであります。簡單より複雑に、近きより遠きに及ぶのであります。原始的な生活より現代の生活に進む方針であります。現代生活を一足飛に理解することは困難であるから。アメリカインディアンの生活エスキモの生活等から出發して日本支那、それから瑞西などの生活様式を研究して現代の歐米生活に及ぶといふ方針をとるものが多いのであります。

第四は保健の方法と活動であります。栄養や食物の價值等に注意し休養的活動社會生活の研究より生ずる個人衛生や公衆衛生、更に積極的健康増進の方法を體得させる衛生の教授や體操は是であります。

第五は文化的道徳的觀念及び習慣、例へば禮儀自制敏速社會奉仕等の實行を促すこととあります。

以上はバーカー氏の意見の大體であります。アメリカ合衆國の小學校教育はバーカー氏の如き先覺者などの意見に基いて新しい教育が行はれてゐる所が多く、更にボイスカウトやガールガイド、少年赤十字など學校内外の教育機關があつて比較的進歩した教育が行はれてゐます。殊に圖書館による教育も大に發達して居りますが茲には小學校教育の大略を述べることに止めて愈々幼稚園教育の實際を述べることにいたします。

# 幼児期の情意教育に就て (三)

大塚 喜 一

## 第三章 児童の下意識

幼稚園及小學校に於て、一般の幼童に向けらるべき先生の努力を著しく消耗し削減する特殊児童の居る事は、教育能率の増進上極めて遺憾なる障害であるが、是等の原因及矯正策は精神分析により児童の精神の奥深く潜在してゐる魔物の正體を明にする事に依りて發見せられる場合が極めて多い。今本章の緒言として東京朝日新聞に引續き掲載せられてゐた「我子のしつけ方」中の一例を轉載しやう。

『先天的かそれとも躰方を誤つた爲か、六才になる長女は小さい時から非常に氣短で、神經過敏で、時々突發的に危険な動作をやります。』

例へばお友達と仲よく遊んでゐる時でも、一寸氣に入らぬ事があると、相手を棒でたゝいたり、かみついたり、子供らしくない發作的の亂暴をするので、しかし其發作状態が終ると、以前よりもおとなしく心が靜るので、其時懇々と諭しましても何の効果もありません。そこで考へあぐんだ末、二三ヶ月

前から左の方法を實行してゐますが、不思議に効果が目立つて參りました。

それは夜子供が眠りかけた時、即ち半意識の状態の時、そつと私は側で靜に子供の體をさすりながら「○○子は良い子だね、お父さまも、お母さまも、それから神様も○○子が一番好きですつて、ほんとにいゝ子だからね、お母様のいふ事をよくお聞きよ……」と云つた調子で優しく諭します。そして他人を傷つける事がどんなに悪い事であるかを教へます。そのうち子供は眠りますが、眠つてしまつてもかまはないのです、かうした事を毎晩繰返してをります内に、子供に段々落付が出て來て、途方もない亂暴はしなくなりました。いはば一種の催眠術ですが、此方法は育児の他の方面に應用してもきつと好結果を得るだらうと思ひます。』（あさ子投）

斯の如きは下意識が意識生活を支配してゐる極めて著しき一例であるが、下意識（例へば夢に現はるゝが如き心理作用）は多かれ少かれ絶えず我々の生活を其奥底に於て搖動かし、誘導牽制し又は攪亂してゐる。精神分析學の研究により、個人の性格の象徴とも見るべき日常生活の行動云爲より、人間の一生の幸福を左右し運命を支配するに至る迄、凡そ人生百般の事象は、盡く下意識界に盤屈し蠢動する様々の願望・欲求・情緒等に多分の因子を有する事が知られた。従て幼児期の情意教育上努力を注ぐべき中心點は、兒童の下意識に迄教育の効果を徹底せしめ、以て將來の幸福の根底を幼時に確立せしむる事である。幼児の下意識は殊に生後二三年間に於て最も可塑性に富みあらゆる影響を受け入れるやうに出來



てゐるから、下意識の教育は幼時期に於て之を施すのが自然であり有効である。編者は此方面に有力なる教育資料を求むべく探索する中、幸に一般精神分析學に關する著書よりは遙に兒童教育を主眼として論述せる Wilfrid Lay, —The Child's Unconscious Mind. (兒童の下意識) を漸く得たので、前二章に述べたる所と關係深き本書の内容を抜萃的に抄譯せうと思ふ。

#### 意識と下意識との交渉

先づ本書の第三章に述べられたる「意識と下意識との交渉」に就て、本文に必要な箇所を摘録しやう。

先づ意識が下意識に及ぼす影響に就て述べれば、ピアノの彈奏、外國語を話す事等の如く、練習に依りて獲得せらるゝ習慣は其一例である。(第一章) (參照) 最初曲譜と鍵盤とを對照して指を動かしてゐた意識的思考は、反復せる不斷の練習により徐々に下意識に傳達せられ、斯くして此下意識的思考が機械的に指を動かし得る様になり、其間に意識は更にそれ以上又は以外の目的に向つて活動し得る様になる。

我々が下意識の偉大なる力を統御し得るは實に之に及ぼす意識の影響に依るのであるから、下意識的精神活動をして文化の目的に副はしむる様に訓練し得らるる事は教育の問題に全く新しき見地を與ふるものである。我々は常に我々の下意識界に於て、意識上に發生せんとして互に争ひつゝある一群の連續的緊張の爲に影響せられ支配せらるゝものなる事を知らば、是等の緊張を統御して利己的より社會的利

他的に向はしむる道を知る事が早ければ早い程よい。今や此方面の新しき事實が日々發見さるるにつれ、斯かる下意識の機制に調和する様に教育の理論及實際を改正するの必要に迫られてゐる。(是等の實際に就ては、田中貳郎氏著「兒童生活心理學の原理と應用」東京市麴町區四番町七番地第一出版協會發行を參照せられよ。)例へば幼兒期に於て父母より受くる下意識的印象は一生涯を通じて子供の心の中に成長し、殊に青春期の性的生活に甚大なる影響を及ぼすものである。(後説參照)

次に、下意識が意識に及ぼす影響は總ての意識生活に就て見らるゝ程範圍の廣いもので、只其影響の顯著にして至大なると錯綜し變形されて捕捉し難きとの程度の差は場合により大に異なるものである。小は我々が日常爲す種々の間違ひより、大は人生に於ける偉大なる事業に至る迄、下意識は始終我々の生活の背後より陰顯出沒して、或は我々の目的活動を妨害し其豫想を裏切り、又は我々自らをも驚かしむる如き神人的偉業をも成就せしめる。將來の教育に於ては、家庭及學校に於て兒童の意識的遊戲や課業の裡に働きつゝある下意識的願望欲求等を分析的に研究して之を取扱ふに便ならしむべきであり、更に、下意識の拘束より生徒を解放する様なる機制の訓練を與ふる事に依り、今迄困難とせられたる學科や技能の練習等も喜ばしき専心熱中の裡に爲さるゝに至るであらう。そは教師が生徒の下意識的願望を理解して、學習を方便として之を達成せしめ且意識的願望の力を之に參加せしめたるに依るのである。かの早教育の智的方面に於ける驚くべき能率増進と偉大なる成功も、亦幼時より其下意識生活の統制(主と

して創造的願望の満足) 宜しきを得たるに負ふ所大なりと思ふ。

creational craving

### 同一化 (Identification)

次に、兒童の精神發達の道程に於て、「類似」(Similarity)を認むる働に依り、兒童は自己と外物又は外物相互間に類似を認める時期が来る。こゝに重要視すべきは兒童自身と他の人との類似である。斯かる類似を基として「同一化」なる作用が始る。これは多くの意識的思考及行動の基を爲せる下意識的精神過程である。人は己自身と他の人又は物とを同一視して、あたかも其人又は物が自己の一部なるかの如くに思ふものである。一體、精神的にも物質的にも「我」とほどの範圍までであるか？ は嚴密に考ふれば困難なる問題である。

最も幼き年頃より我々は自己と他の人々を同一視する。我々の欲求に於ては意識的にも下意識的にも我々は一方に於ては自己と父とを、他方に於ては自己と母とを同一視するものである。我々が成長してかゝる同一化をせぬやうになつても、猶其作用は下意識に残留して其影響を全生涯に及ぼすものである。

又、此「同一化」の作用は、プロセクション及イントロセクションの二種に分たれる。前者は自己の精神状態を客觀的に投影する事、即「客觀的同一化」であり、後者は或る客觀の状態に自己を投じて之を主觀化する事、即「主觀的同一化」である。例へば子供が話を聞いてゐる時、其話中の主人公に

subjective identification

なりすまして、兼てより下意識内にて蠢動してゐた願望欲求等が子供の世界特有の仕方にて達成せられて悦に入つてゐるのは、主觀的同一化の適例であり、而して此お話を聴き終つた後に繪畫や製作や劇的表現等によつて其印象を發表するのは客觀的同一化の例である。此兩者は共に下意識的作用に屬するものであるから、其効果を全からしめむが爲にはお話の最中は勿論其前後に於て幼兒の下意識の機制を亂さないやうに慎重なる配慮を要するのである。

### 兩親の影響

次に、吾人に最も興深き本書の内容は

Chapter VI. The Aim of Education (第六章教育の目標)である、本章に於て著者は先づ「早期の印象なる」題下に於て曰く

「幼稚園へ行く頃迄の間の兒童生活の時期は、後年の性格の主なる傾向を支配する影響を及ぼすから、あらゆる方面に於て其兒の一生涯を通じて最も大切である。

子供はあらゆるものに依て印象されるが、特に人間交渉の環境に依て印象される。其印象力の強き事は、恰も精神が表現さるゝ塑像の質の上に刻印さるゝが如く、其殆ど永續的なる鑄型に比すれば其後の影響は比較にならぬ程である。一度此の印象が兒童の下意識に一定形を作るに至れば、それは其人の其後の生活に於けるあらゆる行爲を自動的に色付け又は修飾變形するに至る。」

と。更に斯かる印象の適例として、兩親が兒童に及ぼす影響に言及してゐる。

「夫婦の間が仲睦まじいか不和なるかは、其子供の性格に下意識的に影響して其青年期に於ける異性に對する態度及結婚後に配偶者に對する態度を支配するものである。

何となれば、性的信頼が開發せらるゝや否やは、只幼時に影響を及ぼす人々の性的信頼の模様を子供

*sexual confidence*

が觀察する事に依りてのみ決せられるからである。今一例を擧ぐれば、對者の眼をまともに見入る習慣は大なる愛の象徴である。眼は顔の何れの表情よりも最もよく眞情を語るものである。對者と視線の合する時、其方に見る子供は信頼の中に生育せられたる者であるが、之をそらす子供は其幼時に於て兩親より恥かしめられ罰せられ等して充分に其愛育を受け得ざりし者である。(人を視る其睥視に若くはなし)

青年期に入らんとする男兒にとりては、其父は他のあらゆる父が斯くあるべき模範と見られ、彼の父 *pre-adolescent boy*

が彼の母に對する態度に依て彼が後年其妻に對する態度が定まるものである。又子供は兩親の行爲に就て兎や角と評論する様になるものであるが、斯くなれば既に親の性格態度行爲等は子供に拭ふべからざる印象を與へてしまつたのであるから、兩親は其子供の面前に於て行爲を自制せんとしても時既に數年を遅れてゐる。(本文第二章中、幼兒の反射的模倣を述べたる所にて、兩親の子供に及ぼす下意識的影響に言及して親たらむとする人の責任の重大なるを力説したるは、茲に再び其論據を得たのである。吾人は

此尊むべき特權が正當に有効に行使されむ事を重ねて切望する者である。

此事は女兒に就ても同様である。彼女の父が快活にして沈着で物事に頓着せぬ性質であつたならば、たとひ後に彼女の夫となつた人が不快ならしくした性質の人であつても、彼女は之に對して何等怒る様な事は無いであらう。何となれば彼女は怒る様な性質を印象されてゐないからである。彼女は夫の不氣嫌に驚き、而して直に其原因を發見して之を除去せんとするであらう。云々……

以上は總て親及教育者をして、小兒の心性の可塑性・其完全なる把持力及其本質的永續性を、具體的に實現せしめむとの目的を以て述べたる所である。小兒の最も可塑的なる年頃（滿一—五才）に於ては、其環境の偶發的の（教育者の氣付かざる）印象を深く心に受取り、殆ど其儘に之を殘留してゐる。それは有生の原形質の上に刻印さるゝが故に、其効果は年と共に擴大せらる。」と。（p. 174—179）

小生思ふに、日に進み日に新にするは昭和の御代に處する日本國民の國是である。國家千年の大計を建つるは人を樹つるに若くはなし。早教育は實に上述の小兒の可塑性を善用して、國民最近の教育理想を實現せんとするものである。されば、此の幼時に於ける眞に自然なる神意に副へる教育は如何なるものであるか、之を現代に行はむとするには如何なる改造を要するかは吾人の當面の問題である。

バーン博士は曰く  
A. Barrie

「卿が非常なる自克自制を以て獲得せる性格事業等も、早教育によつて幼兒の性格形成期に之に應ずる

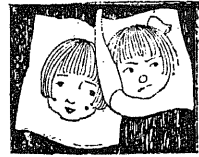
教育を通じて與へらるゝ時は、自然に單純に技巧無く行はれ、かくして卿は人類の規準に確實にして永久なる進歩を與へ得るであらう。

此事は靈妙なる作用を藏せる一嬰兒より極めて大なる満足を引出す如くに思はれる。しかもこはあらゆる親たる人々が斯く勉むれば達し得る所である。」と。

更に本書の著者は性教育に就て注目すべき論述をなしてゐる。子供が最初に性に關して起す疑問は、自分が何時何處より如何にして産れたか？ である。かゝる問を受けたる時、兩親は極めて冷靜着實に子供の質問に對してありのまゝの眞實を語ればよい。元來子供は兩親を絶對に信賴し、若し此信賴に副はざる疑點若くは不審なる態度が兩親にほの見えた時、子供は著しく之を苦にするものである。我兒の愛らしき口から子供にふさはしからぬ（と兩親が思ふ）性に關する質問が初めて出でたるに驚き、若し兩親が之を知らぬと云ひ又は説き古されたる神話的のごまかしたる答を與へ等したならば、茲に子供が被教育者として大切なる「信」が破られ、其結果子供は一般に人に對する信賴を失ふ様になる。又正當なる解答を得れば其儘に過去るべき性的疑問は、之を得ざりしが爲に満たされざる好奇心となりて子供の心に殘留し、子供自ら其解答を種々異様なる形に捏造するか、又は他兒の誤れる智識に耳を傾くるに至る。其結果彼は性的事物のみならず、あらゆる事物を見るに一種の智的斜視を以てする様になる。斯くして最初の性教育の失敗は、學校教育に致命的障害を與ふるものである。

# 尋一の教育から

女高師附屬小學校 田原美榮



生命が刻々日々の連続と成長である以上其の教育も成長に應じた連続でなければならぬ。何處から幼児で何處から児童であるとか乃至は何處から児童で何處から大人であるといふ様な境界線は有り得ないことは殊更に云ふのも愚かな事である。

幼児期の教育・児童期の教育・少年少女期の教育と部分々々の完成教育として考へるあまり吾々は其の前後を振り返ることを忘れて居ることはないであらうか。殊に下から上に積み上げらるべき教育の性質上、自分の手に興へられた子供に對して其の以前に於て如何なる教育をうけ如何なる發達をなして來たものであるかを知ることなしに、直ち

に自分がお膳立して待つてゐたものを興へることは最も考へねばならぬ點である。漠然と一般的にかく育てやうとして着手することは危険と思ふ。かく育ちかく伸びんとしてゐるが故にかく教育せねばならぬことを考へねばならぬ。吾々の立場は小學校教育の始らんとする第一年にて、各々異つた家庭生活の中の子供及び幼稚園に於ける教育をうけて來たもの、それらの環境と如何に調和し連續して無理ない生活をせしめて、その生活の上に教育をうち立て、行くべきにある。

此處に於て當附屬小學校に於ける低學年（一二年）教育は從來の學科課程を排し、子供の家庭生



活・自然界・社會的事項・遊戯等の中から取材した子供の生活を學校に於てせしめ、其生活上に生ずる知識習得（知る）こと（作業）（働く）こと（作る）こと（自己表現）（發表）等を教育の對象とする。又學科的の言葉を以て之を云へば、生活の中に國語生活もあり數量生活もあり、描くことも製作することもあり、お話を聞くことや遊ぶことも歌ふことも勿論ある。而かも之等は文字を習ふ爲の國語生活でなく畫を習ふ爲の描寫ではない。總べてが其部分の修練の爲の教育でなくて生活の中の渾一體となつて流れ燃えてゐる渦であり炎である。生命から切はなすことの出來ぬ生活體であり教育體である。

この教育に於て彼等の學校に於ける生活の原動力を印象と名づけ其の印象を得ることを直觀として扱ふ。而して印象は彼等の生活の中に自然に與へられ、與へられた印象は或は發表となつて無形を有形にして殘し、或は動機となつて其處に何か々

造り出される。又或は筋勞的作業となつて彼等の殆ど遊戯のみの生活の中から立派な目的ある生活へ導くことが出來、其處には愉快と成長と偉大な結果を生み出すことが出来る。

尙其の印象を得る處の直觀は所謂哲學上或は教育上に用ひられてゐるものと多少相違がある。即線返すが、吾々の此處に云ふ直觀は印象（それは生活の）を得る處のあらゆる空間を通しての事物事象の感覺及精神的方面のすべてを含むものである。例へば美しい花園を見、面白い音楽を聽き、春ののどかな陽光の感觸を受けて春を楽しむ等の比較的單なる感覺を通して事物事象を知り且感じることが云ふまでもない、春の野に摘草して來ること、或は自ら畑を耕して農作の辛苦を體驗すること、或は動植物を飼育すること等、兎に角印象となる種々なる體驗すべてを吾々の教育に於て直觀といふのである。

小學校就學以外の子供の教育と就學時の子供の教育とは極めて密接に考へられねばならぬ。而して尙第一學年に於ては子供は未だ其の殆どが幼児の状態にあるもので幼稚園教育に於ける後期のものと餘程似通ふ（否殆ど區別なしに考へてよいかも知れない）ものであるから次に第一學年に於ける教育の實際から幼稚園に於ても試みられてよいかと思はれるものについて拔萃したものを掲げて見やう。何等かの御參考にもなれば幸に思ふ。

| 春          |       | 季節 | 題目 | 直観要項                 | 發表、作業要項                             |
|------------|-------|----|----|----------------------|-------------------------------------|
| 春の野原       | 学校のち庭 |    |    | ち庭の木、ち庭の花、ち庭の飼育物、棲息物 | 花壇の手入（耕地、種蒔、植付、培育）豆の栽培（大豆、黑豆、いんげん等） |
| 春の氣分、春花、田園 |       |    |    |                      | 摘草                                  |

| 秋                 | 夏                     |                       |                               |                           |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 鳴く虫               | 七夕                    | 学校のち池                 | 遠足                            | 鯉のぼり                      |
| すゞ虫、がちやく、すいづちよん、こ | ち星様                   | 水草、あひる、か、ぼうふら、鯉、金魚、めだ | 目的地の景色<br>收穫物（お芋、あさりなど）       | 鯉のぼり<br>武者人形<br>柏餅、ちまき、葛蒲 |
| 虫とり、虫の飼育          | 七夕祭（共同作業）<br>唱歌、遊戯と連絡 | 製作、絡、製作               | 遠足の状景の發表<br>（描寫又は製作）（二三人共同製作） | 鯉のぼり製作<br>（切抜）            |

| 冬                    |               |             |                |                                  |      |
|----------------------|---------------|-------------|----------------|----------------------------------|------|
| お正月                  | クリスマス         | 運動會         | お祭             | お月見                              | ほろぎ等 |
| お正月のあそり              | お正月のお飾り       | （その當日を印象とす） | 各自の近所の学校の附近のお祭 | 十五夜の月見                           |      |
| お正月のあそり<br>お正月の印象の發表 | お飾り<br>（共同作業） | 描寫、製作、等     | 發表（お話、描寫）      | お花をかざる<br>おだんご、やさいの製作<br>唱歌遊戯と連絡 |      |

| の不時                 |                           |                     |                    |  |         |
|---------------------|---------------------------|---------------------|--------------------|--|---------|
| 私のもの                | 賣屋遊                       | 私の家                 | ひなまつり              | 豆まき<br>（節分）                            | び       |
| おもちゃ、人形、學用品、人始末について | 商店街の見物<br>（時季による變化に注意せしむ） | お家の人<br>お家（建物）お庭    | お雛様                | 節分のお話                                  |         |
| 數へる<br>畫く           | 賣もの、製作<br>賣屋ごつこ           | お家造り<br>お家の人の描寫又は製作 | お雛様製作<br>（數名宛共同作業） | 豆まき<br>唱歌遊戯と連絡<br>家庭に於ける豆まきの發表<br>（描寫） | （描寫、製作） |

|             |             |                    |                |
|-------------|-------------|--------------------|----------------|
| 飼育          |             |                    |                |
| 虫 鳩 小 やくし 鳥 | 金 魚<br>おたまじ | 動物園                | 電車ごっこ          |
|             |             | 上野動物園              | 電車(市電、省電)      |
|             |             | 動物園の製作<br>(全體共同作業) | 電車ごっこ<br>電車の製作 |

のち話





# 十一月の幼児生活

東京女師附屬幼稚園

ト

部

た

み

十一月の主材

- 冬の仕度（寒さの準備）
  - お正月を待つ遊び
  - 七五三のお祝ひ
  - 開校園記念日
  - 十一月誕生會
  - 飼育動物或は花壇の世話
  - 遠足、戸外保育
  - 十一月の景色
- （町、庭園、田園、天候、季節等）
- 渡米人形送別（特に本年現はれしもの）

| 曜<br>週 | 一  | 二  | 三  |
|--------|--|--|--|
| 1      | <p>日曜日の話、繪、ホスター作り、旗作り、幼児の樂隊に合はせ行進及び遊戯、折紙切紙等の提灯、旗等つないでお土産とす。</p>  | <p>秋季運動會、幼兒の遊戯、<br/>○だるま送り、<br/>○リレー<br/>○月夜の兎、キンダアホルカ<br/>(小さい汽車、リトルロビン)</p>  | <p>自由遊び<br/>運動會の時の新聞、ホスター蒐集、展覽會<br/>それをみて運動會の印象について談話<br/>ついでに繪に發表<br/>唱歌(雨がフリマヌ)其他練習<br/>ものまはし、雨の仕度ごっこ<br/>積木、カード遊び</p>   |
| 2      | <p>自由あそび(同前)<br/>氷川神社—S家庭園<br/>(九時半より午後一時半迄)<br/>園外保育</p>  | <p>自由あそび<br/>(昨日の木の葉、どんぐり、其他の木の實等にて玩具作り<br/>昨日の話、繪、續いて果物屋ごっことなる。<br/>唱歌、遊戯(練習)</p>   | <p>自由遊び<br/>(銀杏寺寄宿の庭)<br/>木の葉ひろひ(木の葉遊び)<br/>手色わけ、形わけ、種別わけ<br/>技繪或は木の葉細工、切紙談話(お日様)<br/>唱歌(夕日)新授<br/>遊戯(夕日、木の葉、おどれ等)</p>     |
| 3      | <p>自由あそび<br/>七五三祝ひ贈物作り、各兒のをまとめ包装、宛名のしお祝の集り、<br/>(あいさつ、談話、贈物、唱歌、遊戯)<br/>牛天神(參拜(一同))</p>                         | <p>自由あそび<br/>昨日の話、繪等の發表、寫眞、玩具等(生ひ立ちの思出)陳列<br/>談話(七つの祝或は誕生の子供の赤ちゃんの時の發表)<br/>唱歌、遊戯(練習)<br/>(明日のプログラム相談)</p>                                     | <p>自由あそび<br/>花壇の手入れ、小鳥の世話<br/>誕生會(尋一と合同)<br/>挨拶、お祝のことは、おくりもの<br/>(お話、綴り方、母其他から<br/>きいた話)<br/>唱歌、遊戯、樂隊お話あそび</p>             |
| 4      | <p>自由あそび<br/>(日曜生活其他發表、かき上つたもの、繪とき)<br/>(汽車作り、電車作り續き集<br/>積木の汽車、電氣機關車<br/>自動車等、<br/>羽根つき、繩飛び初まる、唱歌、遊戯(練習))</p> | <p>自由あそび(製作つゞき)<br/>汽車、自動車、等數を増す<br/>その都度問答起る、<br/>幼兒製作を集めてカード、停車場、道路、家、木等を<br/>補ひ町(村)をつくる。<br/>銀杏寺(さんなん銀杏の葉ひろひ)グリヤ錦木其他<br/>談話(ロビンソングルウソウ)</p> | <p>自由あそび<br/>(昨日の續き)<br/>完成近くなつたので一組をさそひ町見物する、<br/>汽車、電車に關する様々の歌をうたひあそぶ<br/>談話 羽折れ雀<br/>お話遊び(親雀、小雀まごぶ)<br/>歌、遊、夕日、雀、其他</p> |

| 六  | 五   | 四  |
|--|---|--|
| <p>自由あそび (同前)</p> <p>(ボールさがし、ボール投げ、籠ボール等)</p> <p>(ものまね) (動作による)</p> <p>談話 ロビンソンクルソウ</p> <p>唱歌 (雨) 其他</p> <p>遊戯 (フインガーダンスおどれ其他)</p> | <p>自由遊び (同前)</p> <p>談話 (變なおひるの子)</p> <p>繪話の内容に關する繪或は繪</p> <p>庭園作り (共同製作)</p> <p>麥紙に山池道をかきアヒルを置き、木、人をならべて遊ぶ。</p> <p>唱歌 (雨がフリマス) 其他</p> <p>遊戯 (練習)</p>                                | <p>自由あそび</p> <p>アメリカの子供さんにあげる繪その裏に説明或は手紙をかく。</p> <p>(きせかへ人形作り、色板、積木、三體つなぎ等)</p> <p>もの廻し、ことばつなぎ</p> <p>唱歌、遊戯 (練習)</p> <p>午後米國答禮人形送別會のため代表幼兒日本青年館へ出席</p> |
| <p>自由あそび</p> <p>七五三祝ひ仕度</p> <p>おくり物作り、(切紙、折紙、繪(キビカラ、粘土等))</p> <p>お話あそび (麥つぶ) 續き</p> <p>身體検査</p>                                    | <p>自由あそび</p> <p>談話「赤いめんどり」麥つぶ</p> <p>問答しつゝ、お話遊びに入る</p> <p>七五三の祝ひの仕度</p> <p>贈りもの作り (果物籠)</p> <p>柿、梨、バナナ、栗等を畫用紙にかき切抜いて籠に入れる、ならべて遊ぶ</p> <p>唱、遊、運動 (とびくら等)</p>                          | <p>落葉ひろひ (つゞき)</p> <p>粘土 (作り) 木の葉の皿</p> <p>粘土板洗ひ、ふきん洗濯</p> <p>砂場の道具あらひ</p> <p>談話 (赤い牝鴉) 麥つぶ</p> <p>塗繪 (話の一場面)</p> <p>唱、遊、(夕日其他)</p>                    |
| <p>自由遊び</p> <p>(汽車、箱庭、砂場、トンネル作り)</p> <p>電気機關車、汽車、等の繪</p> <p>切抜等蒐集</p> <p>運動遊戯</p> <p>とびくら、リレー、ボール送り等</p>                           | <p>自由遊び</p> <p>昨日の博物館行につき</p> <p>談話、切抜等に發表</p> <p>ヒル積木、停車場作り、</p> <p>鐵道省線電車等により、</p> <p>汽車ごっこ、電車ごっこ</p> <p>旅行ごっこ</p> <p>唱歌、汽車其他</p> <p>遊戯、汽車、小さい汽車、其他</p>                           | <p>鐵道博物館行</p> <p>本校門——吳服橋</p> <p>坂、道路、交通整理</p> <p>川、船、省線、高架線</p> <p>鐵道に關する一切の陳列品</p>   |
| <p>自由遊び</p> <p>(羽根つき、かるた取り、かるた作り、すご六)</p> <p>談話、(松の木)</p> <p>内容を繪に發表す、</p> <p>お話あそび (親雀小雀、麥つぶ、熊のおうち等)</p> <p>遊戯、唱歌、練習會</p>         | <p>自由あそび</p> <p>たき火にあたつて遊ぶ (觀察) カード遊び、巾とび、</p> <p>ボール遊び</p> <p>本校々庭、寄宿庭</p> <p>銀杏、桜、榎、紅葉、菩提樹、むかご、桐、等採集物を集めて遊ぶ。紙、テープ等による葉の製作</p> <p>談話 (寒くなりました)</p> <p>冒感の用意服裝の話に及ぶかるたとり、かるた作り。</p> | <p>戶外保育</p> <p>雙陸學校——白山神社</p> <p>澤藏司稻荷——傳通院</p> <p>繪 (觀察したもの) 就て)</p> <p>唱歌、夕日、雀、雨等</p>  |

保育手帳から

十一月三十日（庭で自由遊び中）

亭（六年一ヶ月） 俊次（六年四ヶ月）

晃（六年四ヶ月） 泰（五年九ヶ月）

他の組から聞えてくる雪の歌をきいて

ト「もつと寒くなると雪が降つて來ますね?。」

俊「雪どうして降るか知つてゐる?。」

亭「雨がもつとつめたくなつて雪になるんだよ。」

晃「あゝさうだよ。」

泰「ゆうちやん知つてる〜。」

俊「泰ちやんは?。」

泰「あのね、雨が寒くなるとちりて來る時、ちし

ろい附けてくるのよ。」

ト「それでは雨はどうして降つてくるの。」

晃「あのねち湯やへ行くとポタンと冷たいのがち

ちて來るでせう……。」

亭「ゆげが天へあがつて、かたまつてそれが冷く

なつて雨になるの。」

泰「泰ちやん知つてる〜。」

俊「泰ちやんは」

泰「あのね、ち日様が泣いたのよ。」

此の可憐の間答、子供らしい解決をどう扱ひませう。大人の概念を、ことばにしてその儘耳から入れられたそれを子供の知識の様に思つたりする事は考へるべき事と思ひながら、いつもこんな時つくつく考へさせられます。そして失敗をくりかへして居ります。

ト「さつき亭ちやんが湯氣が天へあがつてかたまるといつたけれども、そのゆげのかたまりがあの雲ですね。」（雲を指差して）

俊「白い煙は白い雲になつて、黒い煙は黒い雲になるのね。」

一同「さうだね。さうだ。」

ト「あゝ煙と湯氣……。」



是から先の私の取扱ひが又今考へてもをかしい  
ものですが、とにかく煙は煙、湯氣は湯氣として  
その立ちのぼる實際を観察させ各の名稱と結び附  
ける事を第一として機にのぞみ折にふれていたし  
ました。そして其間に又次の様な問答も出ました。  
ト、皆さん今の貞子さんのやうに解らない事があ  
つたら人に聞くのがいいのね。」

泰「ゆうちやんないのよ。」  
俊「でも自分で考へる方が偉いでせう。」

\* \* \* \* \*

幼児の話は毎年入園當初から引續き記録し  
て居りますが、何時の子供も話として自分で發表  
するものは必ず桃太郎が中心となつて居り、又殆  
ど一様に初めの間は桃の中から男の子が生れて桃  
太郎と名づけた」といふ處迄を以て終つて居り、  
それを繰り返してゐるうちに、漸次幼児の程度の  
進むにつれ本幹の内容が一段落宛加はり、又一足

飛びに結末のくる時もあります、遂に全體の話  
が纏るといつた過程も殆ど一致してゐるのか實に  
面白いと存じます。

なほ幼児に言語發表の練習機會を與へる一方便  
として、自由遊びの間に、或は談話其他の保育の  
前後に、幼児の印象深いと思ふ生活の發表をさせ  
る事を全兒に試みて居ります。そのためか保姆の  
方から話を要求せずとも、幼児が自發的にいろい  
ろの機會に話をなし、又それも最初は二三人な  
のが第一學期終りには半數程になり、第二學期以  
後終り迄には始ど全體に近い子供が自由發表をす  
る様になる事も愉快でございます。

今年四月入園の幼児が初めて昨日の日曜の話を  
を致しましたのを記してみませう。(四月十六日)  
俊子(四年七ヶ月) 昨日ね、上野へ行つたの、  
お父さんお母さんと、そしてね、あの、歸りに何  
か食べたの、おすし。

勉(五ヶ年) 昨日ね、鳥が澤山居るから、あんまり狭いからね、あのとつかへたの、見てたの。

正(四年三ヶ月) あのね、池袋へいったの。

昭次郎(四年七ヶ月) あの、お父さんとおかあさんと…僕と、それからあのね、汽車へ乗つたの、汽車の中で食べたの、そして歸つたの。

泰郎(四年九ヶ月) ね僕ね、お母様とお兄様と行つたの、どこだつけな、忘れちやつた、あゝ村山、貯水池へ行つたの。

寛(四年十一ヶ月) あのね、昨日ね、遊んだの、そして歸つたの。

禮子(四年十ヶ月) 昨日ね、あのね、おばあ様と禮子と昨日ね、えーお母様と、坊やと行つたの。

周一(四年八ヶ月) 本讀んだの。

季子(四年二ヶ月) 三越へ行つたの。

文子(四年九ヶ月) 昨日ね、お花見に行つてね、いゝ物食べたの、あすし。

夏生(四年八ヶ月) ね、昨日ね、お母さんと、お父さんと、たかちやんといつたの、お辨當たべたの。

收一(四年五ヶ月) 昨日ね、高尾山へ行つたの、そしてね花をつんだの、そしてね、てつぺん迄行つて、そして遊んで歸つたの。

小學校尋一に於ける綴り方指導も、幼兒期のは等の發表から發達していくその段階を見守つていく時に、眞に妙味があると思つて居ります。なほ此の當時の幼兒の話の中から二三摘記致しませう。

正(四年二ヶ月)(四月十四日)

(一) あつちから桃、赤い桃こつちへ來い、なくなるの、ね、毎日々々言つたの。

同人(四月十七日)

(二) 鬼が山で遊んで居たの、虎が居たの、「鬼を食べたいね。鬼が逃げて木に登つたの、下から虎が見てたら、鬼がピョンと下りたら、バクつて食

べたの。

同人（四月十九日）

(三) 猿がね、鼠の家があつて鼠が入つてゐたの、「何か食べたいな。」と思つて人間の家へいつたの、何かたべて家へ歸つて外で遊んで又家へかへつたの、そのうちに人間の家では「オヤ何か食べな。」つてそいつたの。

同人（四月二十四日）

(四) 或日ね、自動車走つて来てお家の前に止つたの、「オヤ誰かな。」と思つて良く見ると、悪漢がのつてゐたの、今度は悪漢ぢやあない人間の自動車で追ひかけたの、どん／＼いつたの、そしてたら何處へ其の悪漢が行つたかわかない、ね、づつと坂を行つたの、此度は川の處へ來たの、そしてたら橋がなくて向ふへいられないの、そいで困つてゐると、兩方の自動車がボンとぶつかつて川の中に落ちてしまつたの。

同人（五月十八日）

(一〇) あのね、猫が金魚をたべたの、そいで金魚屋のお醫者様が見たけども、猫がおなかを食べちやつたから分らないでせう、ね、そしてね取られないやうにお家の中へ入れて鍵の付いてゐるふたをして、猫にたべられない様にするの。「金魚がたべられない。」といつて猫も泣いちやつたの。

此の話と前の話との間に六つの面白い發表をしてゐますが、大抵幼稚園及び家庭で聞いた話の再現に自分の想像の混つたものと思はれるもの。是は家庭で猫に金魚をとられた事實があつた翌日の話でした。

次の話では幼児の數生活——量の觀念といつた方面がおもはれて面白いと存じました。

同人（五月二十九日）

あのね、オルガンをね、小さいオルガンと大きいオルガンとつないであつたの。ね、大きいのは

せいが高くて屋根迄あつて、小さいのは僕達位なの。大きい方のオルガンは多勢でして、小さいのは百人位でやつて喧嘩しておまはりさんが来てそ

いでね、お巡りさんも喧嘩したのそいでおしまひ。

次の子供は入園以來かく繪は必ず自動車で、他のものをかいても自動車を加へる様です。次のは初から三回目のもの。

周一(四年八ヶ月) 四月廿四日、

或處に三越があつたの、三越の赤い自動車にのつたの、犬が来てね屋根へのつたら、猿が来てのつたの、此度兵隊さんが乗つちやつたの、馬がのつたの、そうしたらみんなあつこつちやつて三人轢かれたの、今度は兎と罐詰がのつたの。おしまひ。

同人(五月二日)

ね、或とこにね、自轉車に雉子が乗つたの、そらでね、お猿が出てきたの、雉子のあなかに入つ

たの、自動車がこはれて脱線して、雉子とお猿が繃帯したの、貨物汽車が停車場へ來たの、山の方へ登つていつてあつこつちやつたの。

草花や垣根もなしに台所

水 巴

留守すれば柘榴の色の日數かな

圓 女

# 見るものと見せるもの

長尾豊

一  
學校劇の議論がさかんであつた時、或人が、「劇は看客を必要とする。劇といへばモウ其所に見せるもの、見られるものといふことが先づ豫想される。」

と言つて一部の人達を首肯させたことがある。成程、劇に看客は必要である。けれども學校演出や兒童演出に取つて、看客は必要ではない。看客と見物とかいふ言葉さへ使はない方が好い。演者看者で話を通ずる。互ひに演者となり、看者となつて、創作をしながら一方では鑑賞もし、相互批評も行ふ兒童演出や、劇のある所へ來れば演者も

看者もひとつになつて唱ひ出すやうな組全躰、級全躰學校全躰の演出にあつて、演者看者の區別は甚だ明瞭でない。

もと／＼幼兒の劇的動作といふやうなものは、他に示さうとするためではなさうである。幼兒の畫が誰に見せるためでもなく、又その出たらめ歌が誰に聞かせるためでもなく、自ら描き、自ら唱つてそれで満足してゐる。摸倣擬態等もこれを他に示さうとするよりは先づ自ら姿態にうつし、動作に發表してそれで満足してゐる。相手を要する劇的動作のやうなものになれば、單なる自己發表だけではないかも知れないが、併し特別の見手

を要しないで、仲間同士友達同士の間で一切が處理されるらしい。

極端な例になると「お母さんは見ちやいや」とか、「先生は来てはいけません。」とか大人を閉め出してしまふ。看者拒絶の秘密演出もある。さうでないまでもある幼稚園児の劇演出らしいものは、拵へられた面などを冠つて、言葉が相手と噛合はうと、演者同士からだが重ならうと、そばにゐる大人達に聞えようが聞えまいが、分らうが分るまいが、そんな事には一切頓着なく、始まつたかと思ふとモウすぐおしまひになつてしまふ。大膽な看者無視が行はれてゐる。

## 二

演者本位の児童演出にはむしろ此の方がよいと思はれるが、併し、何をやつてゐるのか、口の内でゴチャ／＼言つてゐるうちにおしまひといふものも、いさゝか情ない氣がする、幼兒に長い言葉

が覺えられず、むづかしいセリフが言へないことを経験した人達は、唱歌劇といふやうないき方を採つて、劇ではない叙事風な歌詞で筋を運ぶ對話唱歌に走らうとした。その結果劇的でない、動きのすくない、唱つて踊る「見せるもの」に終つてしまつた感がある。

けれどもさういふ児童演出の中から、ほんたうに児童演出の閃きが認められるとしたら、それは歌も言葉もダンスも、指定の動作もない部分で、兒童が任意に行動してあらかじめ設けられた創作の機會ではない偶然の機會、見やうによつては脚本そのものの不備ではないかと思はれる個所を、即興的に小さい演者が補充した所である。

「話すよりも唱ふ」といふことは児童演出に取つてそんな重要なことではないらしい。長い言葉を覺えさせ、むづかしいセリフを言はせようとすれば、いきほいそれに代る歌が叙事風な説明的な、

それだから劇的でない歌詞になり、それが節附され、唱はれ、動作を伴ふのであるから、どうしても劇的にはなり憎いわけである。それを強ひて劇のやうに、見せる物化しようとした時、衣裳、背景等が入用になるのはまた當然な事であらう。

お話の内容が分つて、立つて動いて演じて見る劇ごつこのお話あそびでは、お話の内容を立つて喋るのではない、お話の動作化、からだでの話であり、一面から言へば又動く聞き方であるから、言葉よりも動作姿態の量を多分にもつことになる。従つて簡単な言葉だけが發せられ、それが自分の言葉として、いはゆる話ことばとして、生き々と表現される。そして言葉以外のすべてが動作行為によつて現はされる。其所に内からの純眞な演技、理解を通しての動きが生まれる。

### 三

劇が動くものであるといふのは、看者から言へ

ば只見たり聞いたり演者の側から言へば、踊つたり歩いたり、唱つたり話したりするものではなく、劇の内容を動作や言葉によつて現はすといふ謂である。つまり目で見ると、面白いものであつて、演者から言へば動くものである。劇は見るものであつて、讀むものでも又聞くものでもない。劇が見るものといふことを言換へれば、それは動くものだといふことになる。動かないものは劇ではない。劇はモオシヨンとエモオシヨンから成るといふのも此の意味で、それであつてこそはじめて兒童のイミテエシヨンとイマヂエシヨンに關係交渉が起り得るわけになる。さうでなければ劇と兒童といふ此の兩者は、風する馬牛も相及ばずといつたやうな遠いものにならう。

兒童演出は見せるものではないから、實演本位公表第一、甚だしきに到ると看者重視の兒童劇や學校劇とは非常に距離のあるもの、全く相反たし

別のものとなるが、ふしぎなことには本來劇が動くもので、看者の側から言へば視覺的な。見るものであるといふことを考へて、動くものとして取扱つていくと、元より見るものであるから、同時に又見せるものとも成り得るのである。

これは實演本位、公表第一、看者重視の見せるものとは自ら違ふもので、演者中心の兒童演出として、副次的に人にも示すこととなる。兒童の演出も「地獄」といはれる入學試験や、又その制度徹廢と同じやうに、子供達だけだつたらば、まざかこんな風でもあるまいと思はれる程、どうも大人がはいるとわるいやうな氣がしてならない。

## 質 問 欄

問 1、幼稚園に於ける生産的方面の教育

2、色カード遊びの方法

(朝鮮の一愛讀者)

答 1、お尋ねの言葉の意味が明きり致しませぬ

からお答へし兼ねますが、今夏の奈良女子高等師範學校の文部省講習に於て森川教授が(幼稚園に於ける生産的方面)といふ題目で講ぜられましたからその聴講者に聞き合せられたい。

2、本誌二十七卷十一月號、卜部氏の「十二月の幼兒生活」の中に詳しく出て居ります。



# 最近歐洲ダンス界に表れた一傾向

## 三 浦 ひ ろ

文は己を読むものだと言ひます。

或人が十代の時に徒然草を読んだ。二十代の時に再び読みなほして非常に興味を覺えたので、三十代に読み四十代に読み更に五十代になつて讀んで見た。しかし何時讀んで見ても新しい味が出て深々として興が盡きないものがあるやうだ。しかも五十代にして讀んで始めて徒然草の眞意にふれた様な感じがする。と言つてゐました。六十代になつて又讀みかへした時にこんどは如何に感ずるかが楽しみだとも話してゐました。

人に例をとらなくても私自身にもかうした經驗はいくつもあります。

浦島太郎の話を讀みました、尋常一年の時、六年の時女學校の上級になつてから、それから本校の四年の時。はじめは浦島太郎の實在を全く承認して居ました。鯛もひらめも鯖も皆人間化して何のふしぎもありませんでした。乙姫様だつて海底に居ると思つてゐたのですから。たゞ一つふしぎだつたのは海にいつたのになぜ浦島の着物がぬれなかつたかと云ふ事でした。

六年の時はおはや島の實在などを考へてはゐませんでした。お話だ」として考へて居たのでせう。しかしなぜ浦島は玉手箱を開けたのだらう。開けなければよかつたにとしきりに浦島の爲に悔いて

ゐるやうな心はあつたやうです。

女學校時代にはもうこの物語は一つの假説物語だと知つて居ました。しかも最後の浦島の行爲については或教訓的の意味を含めたものとして解釋して居ました。最後に讀んだ頃は文學史などでそれ／＼専門的に習つた後でもあつた故でせうか浦島を一つの人間の姿として見て居ました。そうして言ひ様のない寂しさに捕へられて居ました。

結局文は自己を讀む以外の何物でもない様です。自己が作者と全く同一立場に立つた時に眞に意のある所が體驗せられるのでありませう。

私は殆どこれと同様の場合をダンスの時にもあてはめて見たいと思ひます。なぜなら踊りと言ふものは自己表現の一形式であつてこの點に於いて文學と大差ある筈のものでないと信じますから。

文は己を讀むといふ言葉は決して文のみに適用される言葉ではなくてすべての事に共通のもので

あります。即ち他を十分に解釋出來るといふのは自分にそれだけの能力を有して居るからの事であつて、我々が己の力より以上の大仕事をする事は極めて困難な事なのであります。かういふわけで私は今現在日本に行はれて居る唱歌遊戯或は表情遊戯といふものに對して一つ批評を試みたいと思つたのですが、具さに自らの力を考へて居る中に心細くなりました。そこで最も賢い方法を考へ出して見ました。即ち最近歐洲のダンスの世界に表れた新思想の一端を述べて我々のもつてゐる現在のダンスといふものゝ反省の料に供したいといふ事でありませう。

抑も過去二三十年程の間に於いて、ダンスの藝術の上に恰もアメリカと同じ様に一つの新しい運動が主としてヨーロッパのチャトン民族（ドイツ、オーストリア、オランダ、スカンデナヴィア）間に起り次第に其の生長を續けて來たのでありますが

これが従來の古典的バレエに與へた影響もかなりに大きいものでありました。

一體古典的バレエは其の發生を、ルネサンス時代の宮廷に於ける華麗壯大な宴會時に行はれた舞踏に求める事が出來ると云はれてゐます。そして夫れが次第に變化と修養とを経て今日に於けるロシアバレエの全盛期に辿り着いたのであります。

丁度このダンスの世界に新しい思想の流れた頃、ロシアの帝國舞踏學校には畫家、意匠家としてのバクスト、振付者としてのフォーキン、音樂家としてのストラヴキンスキー、舞踊手としてのニジンスキー、モルドキン、バヴロフ、カルサヅキーナ等は其の代表的な人々で、これ等の人々は従來のバレエの因襲からはなれて、古典的バレエに生命を與へたいといふ希求に既に燃えて居たのであります。ですから勿論古典的バレエに於いてもすでに――革命の氣運の動いて居たのは當然の事な

のであります。これを決行に至らしめた直接の原動力はイザドラダンカンにあるのであります。

#### ギリシャ式のダンス（イザトラ・ダンカン）

今からざつと二十年程前にイザトラ・ダンカンと呼ぶオランダの婦人がダンス界に新しい一つの思想と運動の形とを發表しました。彼の女は主としてギリシャ古代の浮彫を研究した人でありました。

そして夫れの深い憧憬者でもあつたのです。其の結果として彼の女は生きた命をその浮彫の自然の姿を通して運動に流して見たいと思つたのです。そしてなほ波濤とか雲、水、裸體等自然の様式の中に表れた美を求める事を怠りませんでした。そして自然にかへれと常に叫んで居たのであります。ところがこのダンカンの考へは従來のダンスの形式では到底其の目的を貫徹させる事は困

難でありました。そこで勢新しい何等かの方法様式を作り出さねばならなかつたのです。これがダンカンが彼の女のダンスの型を作り出した第一歩だつたのです。

バレエの一種特別な姿勢から来る型にはまつた緊張さから身體を救ひ出して之を自然になだらかな運動にうつし、同時にきちんと體にくひ付いた程に見える衣服はぬがせられ、靴やコルセットのやうなものもと外されました。そして燃ゆるやうな衣服の中に包まれた體はステージの上は何の束縛もなく立つやうになりました。この半ば裸體に近いやうな姿は其の最初に於いては見物人にとつて奇異な感じを起させたに違ひありませんでした。殆ど厭惡の情を以つて迎へられた事さへありました。勿論後には非常な賞讃の辭を以つて迎へられるやうになりましたけれど、とにかくダンス界に於いては大きい革命だつたのでせう。彼の女

の露都訪問は時恰もダンスの上に一革命の起らうとして居た時だつたものですから非常なセンセーションをロシアバレエの上にもひき起しました。

#### ダルクローズ・メリツド（ユリスマミック）

ダルクローズ氏の創案にかゝる方法です。ダルクローズ氏はダンカンの次に表れた一人者であります。氏はダンカンが歩いたと同じラインの上立つた人だつたのです。しかしより遙か高い程度に於いて同じ流を汲んだ人だつたのでせう。氏の思想の根底をなしたものは人間のリズムといふものでした。

氏はドイツに於いて最も多くの門弟を有し又サクソニーに音楽とユリスマミックの學校を設立する事が出来ました。そして其の幾分か完成されたところの方法は世の教育連によつて多大の賞讃と激励を受けるとなつて参りました。

さてこのダルクローズ氏の根本思想となつて居

りますものは人間のリズムを如何にして教育するかといふ點に立つて居ります。そして氏は人間身體の運動はすべて魂のリズムの表れでなければならぬといふ假定のもとに、身體の正しい訓練は魂のリズムを教育し得るといふ考へをうち樹て、深い信念の下に身體のリズムミカル軍動を教育して居ります。はじめは單に音樂の教授の爲に案出された身體運動であつたのですが研究の結果、音樂のみに効果ある許りでなく人間教育全般に涉つて有効なものであるといふ事が認められるやうになつたのであります。リズムと深い關係のあるダンスについては非常な効果をもたらしたのは云ふ迄もありません。そして今迄音樂によつて支配され東轉され制限されて居た運動は獨立する事になりましてかへつて音樂伴奏物は踊手の内部に創造せられたところの自然のリズムを強め且つ鮮にする爲に用ひられるやうになつて踊手はもはや音樂を強

いて演出しやうとする必要はなくなつてしまつたのであります。

このダルクローズ氏の流れを汲んで更にダンスの方面に研究を進めた人にラーバー、メリーウキグマン等があります。これ等の人のダンスには從來の技巧をはなれた自然な自由さが多量に表れて居ります。この様に洋の西にはそして其のダンスの世界には自然へかへれといふ大きい叫びがあります。事々しい技巧をはなれたいといふ希求があります。そして純真な人間の自然性をその純なまゝに育て、ゆき度いと願つて居るのではないでせうか。そして人間の持つてゐる自然のリズムを又自然のまゝに美しく練り上げてゆき度いと希んでゐるのではないでせうか。

ダンスは一つの藝術であります。ですから技巧もなければならぬと思ひますが、あまりにとらはれた技巧に走ることはダンスを（五十九頁ニツク）

秋

よ  
し  
こ

秋九月大空高し空青しみつめてあれば心ときめく

やまひ故と退園届持ちて來し若き母の腫寂しかりけり

すべり臺すべり行く子に蝶一つたはむれ遊ぶ十月の朝

まゝ事に水引草をとりにつくし叱られしかなわが六つのころ

福子といふ名さへふさはしつづらなる腫そのまゝえみてゐるかな

七色の絹糸かゞりの毬のごとはづみゆくなり六つになる子は

或る時は王者の如くよそほへど迎ひおそしとひたすらに泣く

かたつむり見つけいでしと遠くより我名をよびぬ喜びのこゑ

ゆふ暗のしのびより來て寂まりぬ遊びほうけし子も歸り來ぬ

ひいやりと秋朝風の快しかごめする子らみつめ居たれば

そのまゝに聖者おはすとみえたりし塔もかはりぬわびしかりけり(ニコライ堂)

私の幼稚園

水島さゆり



— 歌の巻 —

作者

園長、時雄。

おもちゃの動物——熊、象、兎。

人形——花子、ジム君、首振人形、

太郎ちゃん、西洋の姿さん、

キウビイ、たんぼの案山子。

作歌

時雄 つくる

○

どんぐり ぼつとん、

ころ くくく

お山の上から ころ くくく。

○

親牛「もう」と鳴け、

小牛も「もう」と鳴け、

もうく親牛、

もうく小牛。

熊つくる

来た来た 金太郎さん、

金、金、金太郎さん。

象つくる

あくれ、あせんべあくれ、

私はおせんべだ——いすき。

兎つくる

あたちの お目目、  
赤いでしょ。

花子つくる

朝顔咲いた、  
七つ咲いた。

ジム君つくる

僕裸だよ、僕洋服ないんだ、  
裸でもかぜひかないよ、  
僕つよいんだ。

首振人形つくる

隣の水島さん何してた、  
眼鏡をかけて本読んでた。

隣の水島さん何してた、  
歌を歌つて庭掃いてた。

太郎ちゃんつくる

お三時 なーに、

甘栗 みーつ、

お團子よーつ、

お月さん欲しいか、

うーまいよ。

洋西の婆さんつくる

水くみ婆さん きつこんく、

お水は冷たい きつこんく、

二つのバケツに きつこんく、

一ぱいくんだよ きつこんく、

こばしやいやだよ きつこんく。

キウビイつくる

兵隊さん タツタカタ、

お馬に乗つて タツタカタ、

兵隊さん トテチチタ、

鐵砲かついで トテチチタ。

たんばの案山子つくる



ほい、ちゆうすけほい、  
ほい、かん三郎ほい、  
ほい、ほい、ほい、ほい。

園長つくる

花すゝき

野に出でて薄を採らむ秋萩の

赤きも添へむ月の十五夜

むさし野のすゝきの原に君と来て

白雲を見る秋はたけたり

白雲の浮べる見えて牛の行く

野路の薄の穂はうすあかし

秋の日はうすづきにけり川ぞひの

長きすゝきの路をわれゆく

箱根路に薄の原を見出でたり

銀の波寄る海を見出でし

秋たけなは

晴の衣ぬぎて夜更けし郊外の

小暗き窓にこほろぎを聞く

吾がさす橙色の絹傘に

虫一つ來ぬくろき眼をして

をみなへし河原なでして籠にさして

火ともし頭の心ときめく

秋ふけて柿いろづかむかの森の

椋鳥鳴かむ遠きふるさと

榛の木に怪しき聲の百舌の鳴き

空のかなたを雲の流るゝ

\*

\*

\*

\*

\*

\*



季節の  
園藝

# 草 苺

東京女高師 大

岩

金

透明な硝子の器にルビーの様な苺は晩春から初夏の候に私共の味覺をそゝるに充分なものであります。其の靜物を得る爲には恰度本月の末頃苗を定植する時期になりますこと、特に苺は新鮮な果實を尊ぶと云ふ點 於て自家栽培即ち家庭園藝蔬菜としての一つでありますからここに家庭園藝としての苺の栽培方法に就きまして略記することに致しました。

實は突然に投稿を求められましたので、うめくさに迄とも思ひ且つは婦人園藝趣味振興の一助にもと自ら理屈をつくり粗製ながら寸暇を得て御求めに應じました。どうぞ皆様御諒察下さいませ。

一、苗の作り方  
便宜上苗の作り方及外二、三に項を分ち順を述べて述べます。

草苺の苗は殊に作らなくても出来るものではあります、矢張り作ると云ふ氣持で作つた苗が良しい。御承知の通り、五月頃實が出来てから後盛に走蔓(ランナー)を發生して放置しおきますと苺畑は地表が殆ど見えないう様になります。それは走蔓から新株が出来た爲であります。新株は即ち苗であります。此の苗を得るに當りましては、先づ苺畑の株間を充分耕勸し施肥しておくのであります。さうしてあげば走蔓は、その軟かくて肥え

た土壤へ根を下して發育の良好な新株が出来るのであります。此の際走蔓を植土を入れた鉢に引いて來て根を出させますと直ちに鉢植の新株が得られるのであります。

そこで走蔓から出来る新株は非常に多數であります。全部が苗として適當なものではありません。普通には親株の最も近くに出來た新株が最も良いものとされて居ります。而して地上部の強大なことは無論であります。地下部即ち根の發育も共に良好なことが必要であります。特に根が針金様に強直で分岐の少ないものは採用致しません。その様な苗を親株から六月中に切りとりまして、比較的濕潤で強光が避けられる様な場所へ假植します。その時根部は約三分一を切除して、定植の際に先分に發根した苗を得る様にします。假植する時の苗の間隔は普通五寸四方位であります。大規模の場合に於きましては前述しました様に親株に

充分施肥灌水しまして、苗を得ましたものを、假植することなく、直ちに本畑に定植する様であります。

## 二、定植後の栽培法

果實を採收する目的で植付けるものを定植と云ふことに致します。苗を定植しますには、其の時期が莓生産上に相當重要な關係のあるもの、様であります。即ち暑氣の去らない晩夏であります。高温と乾燥の爲に枯死する場合があります。翌年の收量を減じます。それで普通には十月下旬頃の氣候を撰ぶ様であります。要しますに或る程度迄冷涼の氣候が宜しいのであります。

定植します場所は特に撰り好みもありませんが壤土が最も良いことは無論であります。あまり乾燥の土地或は強い光線の直射するのは好みません。多少濕潤で日陰のある位がよろこばれる様であります。

定植します土地は充分丁寧に耕耨して基肥として草木灰、菜種油粕及堆肥（肥料としての効用があるばかりでなく濕潤を保つにも役立つものであります。これを造りますには除草等の際取捨てた雑草を堆積したものを充分腐熟させましたもので結構であります。）を好く混合して施しました畦幅二尺乃至二尺五寸とし株間を八寸乃至一尺位に致します。

追肥としては、油粕を好く腐熟させましたものを充分稀釋したものを定植後一週間位にして一回施します。第二回目には前回と同様の油粕に過磷酸石灰を加へたものを施します。その後生育の状態に依りまして窒素肥料を一二回施しまして大體三月下旬頃に及びます。尙過磷酸石灰は毒の味をよくする役に立ちますから他の肥料と共に充分施用する必要がありますし、油粕の類は過用しますと莖葉のみ茂りまして結實を見ない様なこと

になりますから特に注意を要します。

母は寒氣に對しましては割合に強健であります。が、それでもあまり強烈な寒氣の來る場合には防寒と乾燥を防ぐために堆肥とか、糞とか、かれた雑草等を撒布しておくのもよい様であります。それで普通母は十二月頃迄は多少生育するのを見まして、小さな花を付ける事がありますが結實することはありません。そこで又三月上旬頃溫暖な氣候になりますと莖等が發育し始めまして開花しますがやはり結實しませんで四月に入つて開花しましたものは結實を見ますから、株間へ糞等を敷きまして、果實に土が附着せぬ様に手配します。若し敷物をしませんで實に土砂がつきますと、實は腐敗し易くなりますし、品質も劣等になります。又蟻の巢になつて赤い筈の實が土色になつてしまふ様な事があります。

それから大果を目的として結實を求めます時の

方法としましては、一本の花梗中の結果数を減ずれば其の目的を助長する事が出来ます。即ち好く大きくなりさうな果實六七顆をおさまして他を摘除するのであります。

次に尙栽培の仕方の二三に就きまして記述致します。

#### (イ) 畑植

これは最も普通に行はれる方法でありまして、粗放で且つ多量生産にはこの方法に依ります。

畑一面に植ゑ付けて結實させて收穫するのであります。毎年新しい苺を植ゑ付けて收穫する方法と數年間定植して收穫する方法とがあります。前者の全收量は後者より少ない様ですが品質は優良なものを得られると云ふこと、他の作物例へば葉菜類等を後作として栽培し一定の土地にて一年に一種類以上の作物の栽培が出来るといふ利益がありますので近年は此の方法によるものが多くなり

ました。數年間植ゑ放しの方法は二三年目に於て最も多量の收穫が得られます。四年目位からは收量が著しく減少しますから新しい苗と植ゑ替へる必要があります。

此の栽培方法では新苗を更新する年を除いては走蔓を全部除いてしまひます。この仕事を怠る時は親株の生命は甚だ短くなりますのみならず畑は殆ど足を入れる所なき迄に走蔓が漫蔓しますので管理も不充分になります。更新する年には走蔓を保存して苗を作るのであります。

#### (ロ) 石垣植

静岡縣下でよく見受けられる栽培方法でありまして、一種の促成栽培とも見る可きもので又土地の利用とも考へられます。

石垣の間隙へ苗を植ゑ付けるのでありまして、なかなか面白いものであります。石垣の代りに屋根瓦を用ひまして傾斜地を利用するのも簡單で面

白いものであります。屋根瓦はべたに地上に張り付けます時は一角に小型の四角な空を得ます、それへ苗を植ゑ付けるのであります。

前二者共に南面或は西南面は傾斜した土地を撰ぶ必要が有ります。さうしますと、比較的露地としては早く結果が得られるのでありますし、除草の必要も殆ど無く、敷藁の用もないと云ふ理であります。肥料は充分に施さねばなりません。日除も強光で乾燥の強い時は必要でありますし撒水も場合に依りましては入用であります。

### (ハ) 鉢植

これは重に促成栽培を目的とする場合に行はれる方法でありますが露地で鉢植にして結果を見ますのも趣味のあるものであります。促成栽培としましては曾て記述しました温床を造りまして鉢植の母をその床内に入れるのであります。而し醸熱物は割合に少なくてよろしいのであります。即ち

攝氏十八度を適温とされて居ります。

今醸熱材料の配合の一例を挙げますと左記の様であります。

紡績屑 三十貫 藁八貫 水八荷

そこで右の温度内で六七十日間栽培しますと採果出来る様になります。

管理方法としまして、温床そのものにつきましては略します。母は開花中に撒水する場合は、水が花に掛らぬ様注意する必要があります。水滴が花に入りますと結果を不正型にする場合があります。敷藁の代りに鉢の中へ玉砂利を敷くこともあります。

以上三種に就きまして略述致しましたが、一般に御家庭での栽培はさう杓子定規にする要はありますまい。日光の射しこむ軒下とか樹下を利用して植ゑ付けるのも一法であります。

### 三、品 種

終りに莓の品種に就きまして二三記しまして御  
参考に供します。

(イ) モナーク

性質強健で暑さにも寒さにも強い方でありまし  
て走蔓も多く出ます。果實は赤朱色で光澤があり  
型は短圓錐で大きいものは一果二十匁に達するも  
のもあると云ふ大果を産する種類であります。が、  
普通十匁位でありますして、甘味も強い方でありま  
す。

(ロ) エキセル、シヨア

草性强健で葉も大きい方でありまして、本種の  
特徴は甚だしく早生である事でありまして、産額、  
品質はあまり稱讚する程のものではありませんが  
香氣は高い方であります。要するに促成栽培用と  
しての品種であります。

(ハ) ビクトリア

古く本邦に輸入されたものでありまして一名達

摩と稱して果型心臟型、朱紅色で東京の市場に澤  
山出て有名なものであります。風味はあまり良く  
ありませんが豊産で性質強健でありますから、實  
用の栽培に適して居ります。

(ニ) 福羽莓

これは露地栽培用としましてはあまり適當のも  
のではありませんが、早熟性でありますこと、豊  
産でありますこと即ち採收期間が長いこと及果實  
が相當大きい等の特點を有してゐます。而し缺點  
としましては甘味が乏しいこと及漿液が餘り多く  
ないと云ふ點等であります。

果實は色彩鮮紅を呈してゐまして長い圓形であ  
ります。

特に本種は夏期の早害と病害に注意を要しま  
す。



# ふらく人形

及川ふみ

ふらく人形の名は幼児がつけてくれました。

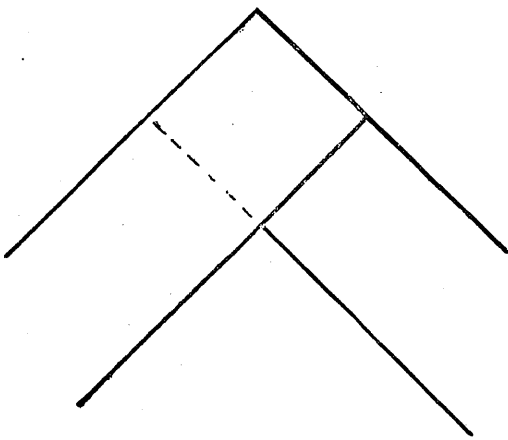
ほんとその名の通りふらくとしてたわいのないものですが、それでも人形芝居の舞台の上での人形の頭の上に紐をつけて上からつるしながらマーチにあはせておどらせますと大層よろこびました。

色紙 二色

畫用紙 少々

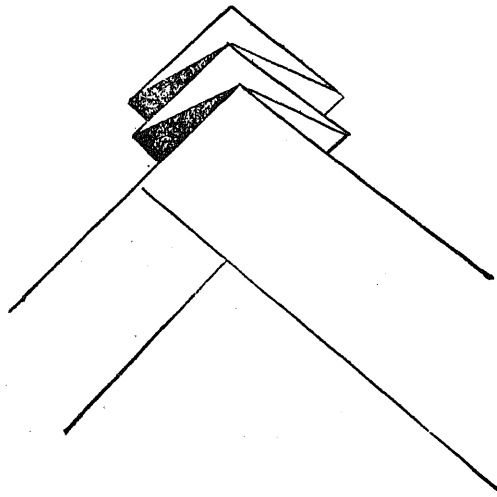
色紙は組紙を使ふのが便利ですがおどらせるのは少し紙がやはらかすぎますから畫用紙を細長く切つて色をつければよいと思ひます。先づ胴をつくります。

組紙の五分のもの（幅五分長さ一尺三寸位）を





長さを半分にして色のちがふ二色を紙の端を直角になる様にかさねてだんくと上へ上へと重ねてた



みます。

今度は前と同じ長さで幅だけは半分にして同じ様にたみます。これが手足になるのですから四つ

こしらへます。

胴のたゝみ始めとたゝみ終りの四角いところを三角にたてその後側に手足をはりつけます。

顔は口繪にある様に畫用紙に帽子と一緒にかいて前の方へはりつけます。

(四十七頁ニツマク)

向上させる道だとは考へられませぬ。さういふ意味から見て私達にしてゐる學校のダンス等に省みるべき點はないものでせうか。學校と幼稚園とかいふ所ではことに自然によく接觸してゆかねばならぬと考へられるのですが。今迄の技巧から思ひ切つてはなれてしまふ必要はないものでせうか。



## お猿のはなし

水谷年惠

### 玉子を持つて逃げたお猿

太郎さんが金魚に御飯粒をやらうと思つて、台所の方へ駆けて行きました。台所の戸をがらりと開けると、大きなお猿が、顔中御飯粒だらけにして、太郎さんをにらめました。太郎さんはびつくり仰天、

「きやつ。」

と言つて青くなつてしまひました。其處へお母さんが、

「どうしたの。」

と言つて出ていらつしやいましたが、お猿が飛び

かゝつて來さうにしたのを見ると、びつくりして台所の戸をびしやんと締めておしまひになりました。た。

其處へおぢい様がいらつしやつて、

「猿か。猿は長い物で追ふといふのだよ。」

とおつしやつて、物干竿を持つていらつしやいました。そつと戸を開けて見ると、お猿は口をもぐく／＼させながら、こちらを向いて、又怒りました。

おぢい様が竿を突出して、しいつ、しいつとおつしやると、お猿は急いで両手に玉子をつづつ持つて、のそのそと勝手口の方へ出て行つて、

塀の上へ飛乗りました。台所には御飯粒が一ぱい

こぼれて居り、玉子の殻が六つも七つも捨て、あつて、白みだけが、たたり、たたりと壘の上に流れて居ります。蓋を取離したおはちの中の御飯は掴み出されてしまつて少しばかりしか残つて居りませんでした。

塀の上へ乗つたお猿は、玉子の一つを食べようと思つて、ごつんと塀に打付けました。玉子はがしやと破れて、黄みも白みもたたりと、流れて落ちてしまひました。

「やあ、猿だ、猿だ。」

と言つて、近處の人々が大勢寄つて來ました。お猿はも一つの玉子をしっかりと握つたまゝ、塀の傍の柿の木へ飛移りました。皆ががや／＼言つて騒いだり、笑つたり、竿でつゝいたりするので、お猿は柿の木から飛下りました。

「そら、下りたぞ。」

太郎さんも、おぢい様も、近處の人々も一緒にな

つて、追駈けました。お猿は玉子を持つたまゝ、どん／＼逃げて、お宮の森の中へ駈込んでしまひました。そして大木に登つてしまつたので、姿も見る事が出来ませんでした。

### 鏡に顔を映したお猿

花子さんが大きな鏡の前で髪をかいで居ました。あかるい鏡の中には、可愛らしい花子さんの顔が唯一つ映つて居ました。

突然お猿の赤い顔が鏡の中へ現はれました。其のお猿は花子さんの眞似をして、頭へ手をやつて髪をかく振をして、鏡の中を覗きこみました。花子さんはびつくりして、

「きやあゝつ。」

と大きな聲を出しました。お姉様が其の聲を聞きつけて、

「なあに。」

と言つて見にいらいつしやいました。するとお猿はいち早く逃げて、お隣の屋根へ飛上りました。

「あら、あら。」

と言つて居る中に、其の又お隣の屋根へ飛んで行きました。人々が、

「猿が居る、猿が居る。」

と騒ぐと、お猿はびよん／＼と屋根から屋根へ飛移り飛移りして、しまひには何處かへ行つてしまひました。

### お辨當を盗んだお猿

猿廻しが今日も、昨日も、一昨日も御飯を食べませんでした。猿廻しのおなかは、べこ／＼になつてしまひました。何か買つて食べたいと思つても、猿廻しの墓口の中には一錢のおあしもありませんでした。猿廻しは、大川の橋の上まで來るとあまりおなかがすいて、べちやんと坐込んでしま

ひました。猿廻しの脊中には、赤いちやんちやんこを着たお猿が、ちよこんと乗つかつて居ました。主人が坐込んでしまふと、下へおりて、可哀想な主人の脊中を撫でてあげて、悲しがつて居ました。

すると、ポチが橋の上を通りかゝりました。仲

悪の猿が居ると見ると、

「わん、わん。」

と吠えて、お猿の所へ寄つて來ました。お猿は主人を大切に思つて、

「きつ、きつ。」

と言つて、ポチを追ひましたが、ポチはちつとも退きません。

「わん、わん／＼。」

と益々吠えつきます。その中に黒犬がやつて來ました。そしてポチと一緒になつて、

「わん／＼、わん／＼。」

と吠立てて、お猿にかゝつて來ます。お猿は主人が大切ですから、一生懸命で我慢して、犬に負けないうちに、

「きつ／＼、きつ／＼。」

と鳴いて、犬を追拂はうとしましたが、かなひません。

其處へ又白犬や赤犬が、仲間の加勢にやつて來ました。ぶちも來ました。むくも來ました。さあ大變、六匹の犬が一時に、

「わん／＼／＼、わん／＼／＼。」

と吠立てて、かかつて來るのですからお猿はたまりません。お猿は赤いちやんちやんこを着たまゝで、どん／＼逃出しました。ポチに、黒に、白に、赤に、ぶちに、むくの六匹の犬が、お猿のあとを追つて駆出しました。

お猿は一生懸命で、どん／＼走りましたが、六匹の犬に追ひつかれさうになつたので、道端の交

番の中へ逃込みました。續いて六匹の犬が駆込まうとしました。お巡りさんはびつくりしました。これは赤いちやんちやんこのお猿が可哀想だと思つて、六匹の犬を追拂つて呉れました。

六匹の犬があつちの方へ逃げて行つてしまふと今度はお猿が交番から逃出しました。お猿はお巡りさんのお辨當をさらつて駆けて行きます。お巡りさんは、もうすぐお晝だから食べようと思つてゐたお辨當をお猿に盗まれたのですから

「これは大變だ、辨當泥棒！」

と言つて、お猿を追駆けました。お猿はどん／＼走りしました。お巡りさんはどん／＼追駆けました。お猿はやつと大川の橋の上にへたばつてゐる主人の所へ走り着きました。追駆けて來たお巡りさんは、先づ猿廻しに、

「どうしたのだ。」

と尋ねました。猿廻しは、

「今日も、昨日も、一昨日も何も食べません。」  
と言ひました。

「あゝさうか。それは可哀想だ。ぢやあ私の辨當  
をあげよう。お猿もおあがり。」と言つて、お猿の  
持つて居る辨當を開いてやりました。猿廻しは  
「有難う御座います。有難う御座います。」

と、何遍もお巡りさんにお禮を言つて、赤いちや  
んちやんこのお猿と二人で分けて食べました。ど  
んなにあいしかつたでせう。

茜掘夕日の岡を歸りけり

紅葉

空壕に響きて椎の降りにけり

かな女

# 幼児の仕事の一つ

—大工仕事—

新庄よしこ

女の子の仕事の一つとしては冬の寒い日、さては雨のつゞく午後などぬひとり（毛糸針の太さに毛糸をとほして）をしたりしたが男の子への仕事を何かと探して居たがこのごろ大工道具を使ふ仕事を始めて見た。

幼児には鉋もかけられようはなし鉋も使へまいし、まして自分で計畫して思つた通り作るといふ事は勿論望みもしなかつた。それ故子供の仕事とも先生の仕事ともつかずどんな風に出來るかと始めたのがお茶の水の停車場である、（震災前にも停車場をつくつた事があるので手始めとしては少しでも自信のあるものと思つて）

始めて見ると板はたやすく鋸でされるので幼児の一人にさせたところかなり上手にきるし釘はうてる。あひまゝに五六人が代りあつて板をきつたり釘をうつたりして今出來かゝつてゐるかういふ風にすればいゝといひ出すものもある。何をしても出來なくて困つて居た子が大好きでこれをする時ばかりは非常な熱心と巧みさをあらはすので家が少しづつ完成しかけてゐる喜びと同時にかうした子供の力を見つけ出したことを大變うれしく思つた。

先生も面白いのでつい自分でしてしまひたくなるので先生がし過ぎない様子を付けてゐる。

あぶない道具をつかふのでこれの處置や始末にも注意をしてゐる。猶これは停車場のみに止らず幼児からの申し出によるこれに關聯したものを順次につゞいて作りたいと思つてゐる。

# 千代の榮

Musical notation for measures 1-5. The piece is in 2/4 time with a key signature of one sharp (F#). The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. Measure 1 starts with a treble clef and a 3/8 time signature. Measures 1-5 are numbered 1 through 5.

Musical notation for measures 6-9. Measures 6-9 are numbered 6 through 9. Measure 8 includes a fermata over the final note.

Musical notation for measures 10-14. Measures 10-14 are numbered 10 through 14.

Musical notation for measures 15-19. Measures 15-19 are numbered 15 through 19. Measure 16 is marked with the word *Fine*.

Musical notation for measures 20-24. Measures 20-24 are numbered 20 through 24.



御大典奉祝律動遊戲

千代の榮

——(新刊表情遊戲第五集より)——

土川五郎振

- 1 ……拍手二回
- 2 ……右足を引き掌上に兩手を前にならべ少しく上體を前に屈す
- 3 ……拍手二回
- 4 ……左足を引き兩手前に(2)の如くす
- 5 8 ……兩手を頭上に手は全く開き手頸先を左右に回轉しつゝ右に回轉して正面に向く
- 9 10 ……左へ三步上體を左へ傾け左耳に近く拍手三回
- 11 12 ……右へ三步上體を右へ傾け右耳に近く拍手三回
- 13 14 ……全生連手して左足を出し兩手を前後に振ること四回
- 15 16 ……同じく前後に振る

17 …… 右生に左生と向き合ひ右食指を出し右手前臍を立て左手にて右臑を受け跳んで右足を出す時右

食指を左前下に振り相手とのぞく

18 …… 跳んで左足を出し左食指にて前の如くす

19 20 …… 両手を取り左にまわりて位置の交換をなす

21 24 …… 前と同じくして元の位置に歸る

1' 2' …… 全生連手前進

3 4 …… 後退し終りに音と共にゆるやかに上にあぐ

5' 8' …… 右向をなし兩手上にあげ掌を上に向けスキツブ八回前進す

9' 12' …… 右足一步後へ兩手を右へ肩の高に伸ばし掌を右に向け顔は左に向く次に左足一步後兩手左へ顔

は右に向く此如して四日後退す

13' …… 跳んで拍手一回右向をなす

14' …… 同じく右向

15' …… 同じく右向にて正面に向く

16' …… 兩手を頭上はあぐ

別法 5' 8'迄兩手頭上に(掌上に兩臑を張り)右足をあげ左足にて跳び次に左足をあげ右足にて跳ぶ

かくして四回にて右に廻り正面す。9' 10'迄左足にて足踏兩手を左へ次に右足にて足踏兩手右へかくし

て四回13' 14' 15'は跳んで右向拍手、だん／＼右向をなし16'にて正面兩手をあげる。

# A shadow Dance

Allegro Staccato

Elizabeth Rose Fogg

Musical notation for measures 1-3. Measure 1 features a treble clef with a sharp key signature and a 4/4 time signature. The bass clef accompaniment consists of quarter notes. Measure 2 shows a treble clef with a complex sixteenth-note pattern. Measure 3 continues the sixteenth-note pattern in the treble clef.

Musical notation for measures 4-6. Measure 4 has a treble clef with a sharp key signature and a 4/4 time signature. The bass clef accompaniment consists of quarter notes. Measure 5 shows a treble clef with a complex sixteenth-note pattern. Measure 6 features a treble clef with a complex sixteenth-note pattern and a bass clef with a complex sixteenth-note pattern. The notation includes the instruction "broad big ff" and a fermata over the final note of measure 6.

Musical notation for measures 7-9. Measure 7 has a treble clef with a sharp key signature and a 4/4 time signature. The bass clef accompaniment consists of quarter notes. Measure 8 shows a treble clef with a complex sixteenth-note pattern. Measure 9 features a treble clef with a complex sixteenth-note pattern and a bass clef with a complex sixteenth-note pattern. The notation includes the instruction "lightly L.H. pp" and "heavy ff".

Musical notation for measures 10-12. Measure 10 has a treble clef with a sharp key signature and a 4/4 time signature. The bass clef accompaniment consists of quarter notes. Measure 11 shows a treble clef with a complex sixteenth-note pattern. Measure 12 features a treble clef with a complex sixteenth-note pattern and a bass clef with a complex sixteenth-note pattern. The notation includes the instruction "very dignified ritardando." and a fermata over the final note of measure 12.

## かげぶみ

戸 倉 ハ ル

この遊戯は外國では、シャドー、ダンスといつて月夜月光を浴びながら行はるゝ可愛い、面白い子供のダンスであります。時は丁度仲秋の晩私は皆様と同じやうにあのさえた名月を眺めて、いろ／＼な感興にひかれてゐるうち、ふと幼い時遊んだ「かげぶみ」を想ひ出した。それを題材として次のやうな振を考へ出しました。

## 一、準備

隊形は一定せず、自由な場所て自由に行はせる。

## 二、曲

(六九頁参照)

## 三、方法

1 小節 四呼間

月影を前から受けて自分の影を後ろにうつし、其の影を見ながら膝を軽く屈伸して、左足から四歩

前進する。

後から影法師がついて来るやうな氣持で、

2 小節 四呼間

つゞいて六歩小さく走り、跳んで後を向いて止まる。

影法師が走つてついて来ると云ふ氣持で、

3 小節 四呼間

2 小節と同じ動作をする。

影法師が追つかけて来ると云ふ氣持で、

4 小節 四呼間

右足を高くあげて一步前に踏み出し、次に左足を引きつける。更に左足で同じ動作を繰り返す。

どこまでも自分について来る影法師を踏みつけると云ふ氣持で、

5 小節 四呼間

4 小節と同じ動作をする。

6 小節 四呼間

踵をあげて頭上に高く組み、八歩小走りして前進する。

影法師を大きくする氣持で、

7 小節 四呼間

兩手を胸に組みうづくまる。

前の大きい影法師を小さくする氣持で、

8 小節 四呼間

前の姿勢のまゝピョン／＼二回前に跳ぶ。

影法師を跳び越える氣持で、

9 小節 四呼間

8 小節と同じ動作をする。

10 11 12 小節 一二呼間

自由な方向にめい／＼歩く。

影法師があまり自分の眞似ばかりしてゐるので、じれつたくなり、今度はそれをすてゝ涼しい顔をして歩いて行くと云ふ氣持で、

# 雜 錄

## 第六回大分縣保育會總會

大分縣保育會總會は去る七月六日中津町公會堂に就て開催、來賓に學務部長代佐藤縣視學、大分市視學、豐永高女校長、梅高扇城高女校長、久留米幼稚園赤司河北兩女史、大江町長、地方教育家數名出席、會員園長貳名、保姆六五名にして初に立花副會長の挨拶會務會計報告あり、大分幼稚園稻留保姆、岡山市に開催せる全國幼兒教育研究大會の報告、引續永年勤續者、并に皆勤者の表彰あり、協議後會員の研究發表及び遊戯の相互研究を試み午後六時散會せり。

翌七日午前七時私立扇城高女校を視察し終て南部其他四幼稚園を隨意參觀、十時より佐藤縣視學の講演を聞き正午散會、午後扇城に趾并に福澤翁の舊邸見學耶馬溪の觀光をなせり。

勤續表彰 二二年井上ミナ（中津北部）二〇年天門靜枝（成蹊）一三年兒島ヌイ（中津小祝）一二年

天門成幸（成蹊）一〇年外永タガ（杵築）

皆 勤 八年恒住又二（北部）同年速水芳枝（泉都）六年管沼チカ（南部）

研究發表

一、入園當初に於ける幼児取扱の一端

白杵幼稚園 北山ハッ

一、入園當初に泣く子供の取扱

大分幼稚園 稻留トク

一、幼児に直面して

中津幼稚園 末廣キノ

因に記す縣下の園數左の如し

公立 一五 私立 一三 計二八

### 成蹊幼稚園創立二十周年記念式

大分縣私立成蹊幼稚園は明治四十二年九月十二日の創立にかゝり、本年その二十周年に相當するにつき去る十二日記念式を舉行せり、定刻天門園長開式を宣し、君可代合唱勅語奉讀次で園長誨告來賓

學務部長代利光縣視學、保育會長代高田幹事、福岡縣伊田幼稚園長、伊藤町長、田島高女校長、上田海西女校長、其他地方教育家

の祝詞あり、終て本願寺學務、社會兩部長、山口、福岡、大分各縣保育會長、佐藤縣視學、樺太、東京京阪各地より寄せられた祝電參拾有通を披露し、記念式の歌を合唱して式を閉ぢ、引續き祝宴を開き、會場は祝飾を整へ來賓の外三百餘名に達し、園長の挨拶、麻奧三等主計正其他の祝詞演説あり、尙ほ夜間演藝會を開催、園兒の二十數回の種々發表あり。最後に中津町藥劑師中野金吾氏乃木大將と五郎正宗



の講談及び中津幼稚園尼子保姆の遊戲は一層の喝采を博せり。

### 埼玉縣保育協會々則（昭和參年九月十六日決定）

埼玉縣保育協會が今回新に設立せられた由誠にお目出たいことであります。同協會理事長の浦和幼稚園長長沼依山氏より會則を御送附になりましたから參考までに掲載いたします。（記者）

第一條 本會ハ埼玉縣保育協會ト稱シ事務所ハ本縣浦和町四百貳拾九番地ニ置ク

第二條 本會ハ本縣内ノ保育團體ヲ以テ組織ス

第三條 本會ハ幼兒保育ノ研究ヲナシ其ノ進展助長ヲ圖リ各保育機關ノ聯絡向上ヲ期スルヲ以テ目的ト

ス

第四條 本會ノ事業大要左ノ如シ

一、保育事業ニ關スル研究

二、第三條ノ目的ヲ達スルニ必要ト認ムル事項

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、理事長 一名 一、理事 五名

第六條 理事長ハ本會ヲ代表掌理シ理事ハ會務ヲ處理ス

第七條 理事ハ總會ニ於テ選出シ理事長ハ理事會ニ於テ互選スルモノトシ其ノ任期ハ二ケ年トス  
第八條 本會ノ集會左ノ如シ

一、總會 毎年一回

一、理事會 必要ニ應ジ隨時之ヲ開ク

第九條 本會ノ費用ハ加入團體ヨリ年額參圓ノ會費及篤志者ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 入會及退會ノ際ハ本會ニ届出ツルモノトス

